

2025
10月

Okinawa Convention & Visitors Bureau
OCVB News



■ OCVBホームページ
<https://www.ocvb.or.jp/>

【観光客の皆様向け情報】
■ 沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語
<https://www.okinawastory.jp/>





一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

会長 浜田 京介

平素より沖縄の観光振興に格別なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、現在、2025年度の入域観光客数は、過去最高であった2018年度の1,000万人に迫るスピードで推移しています。さらに、国内入域客数は昨年度に過去最高を更新しましたが、今年度はさらにそれを上回る人数が訪れております。国内線経由で訪れる外国人観光客も増加しており、多くの欧米系の方々が沖縄に訪れています。国際線やクルーズ船で訪れる海外入域客数も増加傾向にあり、引き続き好調に推移すると予測されています。

当財団は今後も、インバウンド対策の強化、エシカルトラベルの推進、観光人材育成、観光危機管理といった基盤政策を継続するとともに、消費単価の向上と滞在日数の延伸を目指し、例えばブルーゾーンの要素取り入れたアドベンチャーツーリズム、産・官・学連携を強化したMICE、見る・参加するスポーツツーリズムなど高付加価値型観光の推進に一層力を入れてまいります。

また、2025年9月25日～28日に開催された「ツーリズムEXPOジャパン2025（愛知・中部北陸）」では、沖縄ブースは「彩（いろどり）」をテーマに掲げ、「ちむどんどんする、冬の沖縄」をコンセプトに多数の団体とともに出展いたしました。エイサー演舞、首里城復興ツアー、グランピング×サウナ体験、空手ステージ等、多彩なプログラムを通じて沖縄の魅力を発信いたしました。

さらに、本年は、「地域の未来を描く観光データプラットフォーム：おきなわ観光地域カルテ」が「ジャパン・ツーリズム・アワード」で入賞いたしました。これまで見えなかった市町村単位での人流を可視化することで、地域ごとに特色ある観光戦略を立案できるデータ基盤として評価いただきました。今後も広域連携DMOとして観光地域マーケティングを推進してまいります。

今後も地域と連携し、沖縄県が目指す「世界から選ばれる持続可能な観光地」の実現と、観光を通じた県民の幸せづくりに一層貢献してまいります。

2025年10月

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（25年4月～8月実績、9月～11月見通し）

	9月	10月	11月
※航空会社ヒアリングならびに沖縄県内発着便の提供座席数より推測			
国内空路			
海外空路			
※クルーズ客船の寄港予定より推測			
国内海路			
海外海路			

〈OCVB観光天気予報〉	
	対前年 105%以上水準
	対前年 100%以上-105%未満
	対前年 95%以上-100%未満
	対前年 90%以上-95%未満
	対前年 90%未満水準

		4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月(実績)	8月(実績)	9月(予測)	上期計	10月(予測)	11月(予測)	9月-11月
2025年度	空路 国内	617,900	588,300	595,800	701,900	780,400	680,000	3,964,300	710,000	680,000	2,070,000
	空路 海外	168,300	166,700	169,800	177,800	202,200	178,000	1,062,800	185,000	167,000	530,000
	空路 合計	786,200	755,000	765,600	879,700	982,600	858,000	5,027,100	895,000	847,000	2,600,000
	海路 国内	3,000	12,700	3,900	2,300	3,000	5,600	30,500	4,200	5,400	15,200
	海路 海外	93,400	74,900	69,400	65,800	89,400	73,000	465,900	78,000	92,000	243,000
	海路 合計	96,400	87,600	73,300	68,100	92,400	78,600	496,400	82,200	97,400	258,200
	空路海路合計	882,600	842,600	838,900	947,800	1,075,000	936,600	5,523,500	977,200	944,400	2,858,200
	国内合計	620,900	601,000	599,700	704,200	783,400	685,600	3,994,800	714,200	685,400	2,085,200
	海外合計	261,700	241,600	239,200	243,600	291,600	251,000	1,528,700	263,000	259,000	773,000
前年度比	空路 国内	105.1%	105.1%	104.1%	101.8%	101.9%	107.4%	104.1%	103.1%	107.5%	105.9%
	空路 海外	156.6%	149.5%	140.4%	132.6%	150.6%	141.9%	144.9%	149.4%	141.5%	144.3%
	空路 合計	113.0%	112.5%	110.4%	106.8%	109.1%	113.1%	110.7%	110.2%	112.9%	112.0%
	海路 国内	56.6%	635.0%	73.6%	88.5%	111.1%	350.0%	156.4%	71.2%	122.7%	127.7%
	海路 海外	181.7%	200.3%	140.2%	73.9%	88.8%	103.0%	116.8%	113.7%	163.1%	124.0%
	海路 合計	170.0%	222.3%	133.8%	74.3%	89.4%	108.4%	118.6%	110.3%	160.2%	124.3%
	空路海路合計	117.3%	118.6%	112.2%	103.5%	107.1%	112.7%	111.3%	110.2%	116.4%	113.0%
	国内合計	105%	107%	104%	102%	102%	108%	104%	103%	108%	106%
	海外合計	165%	162%	140%	109%	124%	128%	135%	137%	149%	137%

■概況

国内：

- ・高まる個人旅行需要を背景に航空会社の増便が予定されており、連休に合わせたイベント開催が必要を後押しする形で、堅調に推移している。東京/大阪からの離島直行便も夏場の需要増に伴い、好調に推移している。
- ・横浜港発の大型クルーズ船「DIAMOND PRINCESS」や日本向けラグジュアリークルーズ船「MITSUI OCEAN FUJI」の入港が予定されている。
- ・「MITSUI OCEAN FUJI」や大型クルーズ船「MSCベリッシマ」は那覇発着のフライ&クルーズ商品が計画されており、秋口にかけて数多くの入港が予定されている。

海外：

- ・空路は台北、韓国仁川の需要が好調に推移している。10月には新規路線として韓国清州＝那覇が就航し、新たな需要拡大が期待されている。
- ・石垣/下地島発着の直行便は、台北や韓国仁川を中心に需要が好調に推移しているが、需要が高まる夏ダイヤ終了に伴い、一部運休も予定されている。
- ・海路は、台湾発の海外クルーズを中心に好調に推移している。石垣港や平良港へは、香港や廈門発のクルーズ船の入港も多く予定されている。

過年度実績については、沖縄県の[入域観光客数概況](#)をご確認ください。

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（25年4月～8月実績、9月～11月見通し）

9月

空路

（国内）68万人（24年9月対比 107.4%）と見込む。

（海外）17.8万人（24年9月対比 141.9%）となる見通し。

海路

（国内）5,600人（24年9月対比 350%）の見通し。
国内クルーズは4回寄港予定。（那覇・横浜・長崎）
那覇発着のフライ&クルーズは2回寄港予定。

（海外）7.3万人（24年9月対比103.0%）となる見通し。
台湾（基隆）や香港、中国（上海・廈門）から、31回寄港予定。うち18回は石垣港または平良港のみ寄港。

10月

空路

（国内）71万人（24年10月対比103.1%）と見込む。

（海外）18.5万人（24年10月対比149.4%）となる見通し。
清州（韓国）＝那覇路線
（新）エアロK航空：10月1日～新規就航（デイリー）
香港＝下地島/石垣路線
香港エクスプレス：10月26日～運休
台北＝下地島
スターラックス航空：10月25日～運休
台北＝石垣
チャイナエアライン：10月26日～運休
タイガーエア台湾：10月26日～運休

海路

（国内）4,200人（24年10月対比 71.2%）となる見通し。
国内クルーズは5回寄港予定。（那覇・東京・横浜・博多）
那覇発着のフライ&クルーズは1回寄港予定。

（海外）7.8万人（24年10月対比113.7%）となる見通し。
台湾（基隆）や香港、中国（上海・廈門・深圳）から、26回寄港予定。うち5回は石垣港または平良港のみ寄港。

11月

空路

（国内）68万人（24年11月対比107.5%）と見込む。

（海外）16.7万人（24年11月対比 141.5%）となる見通し。

海路

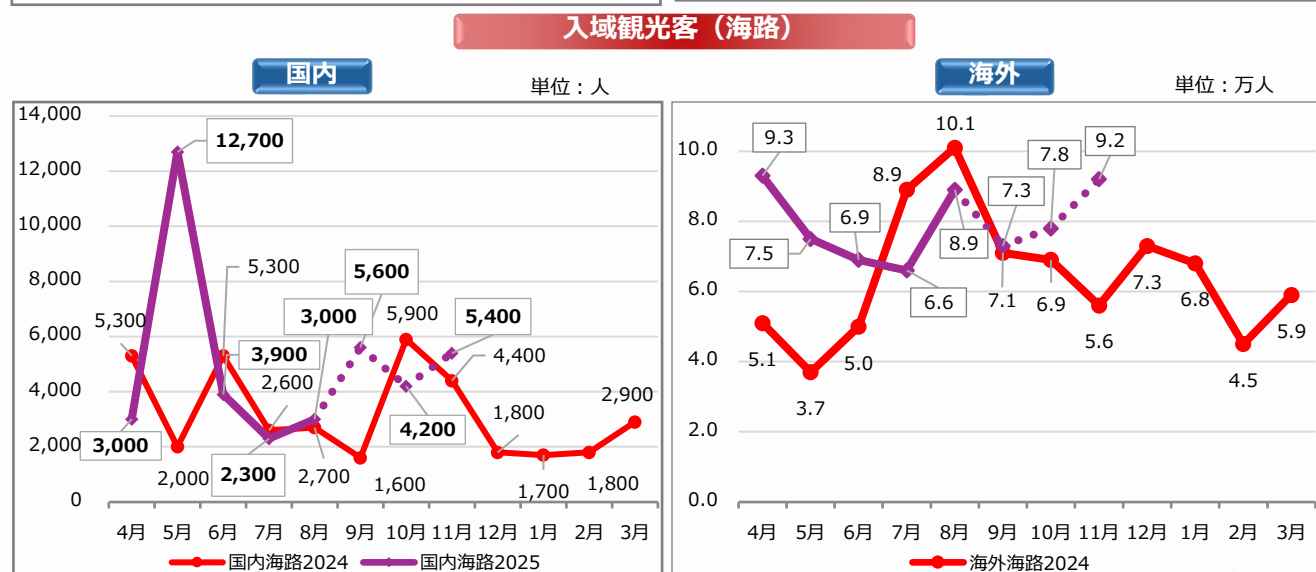
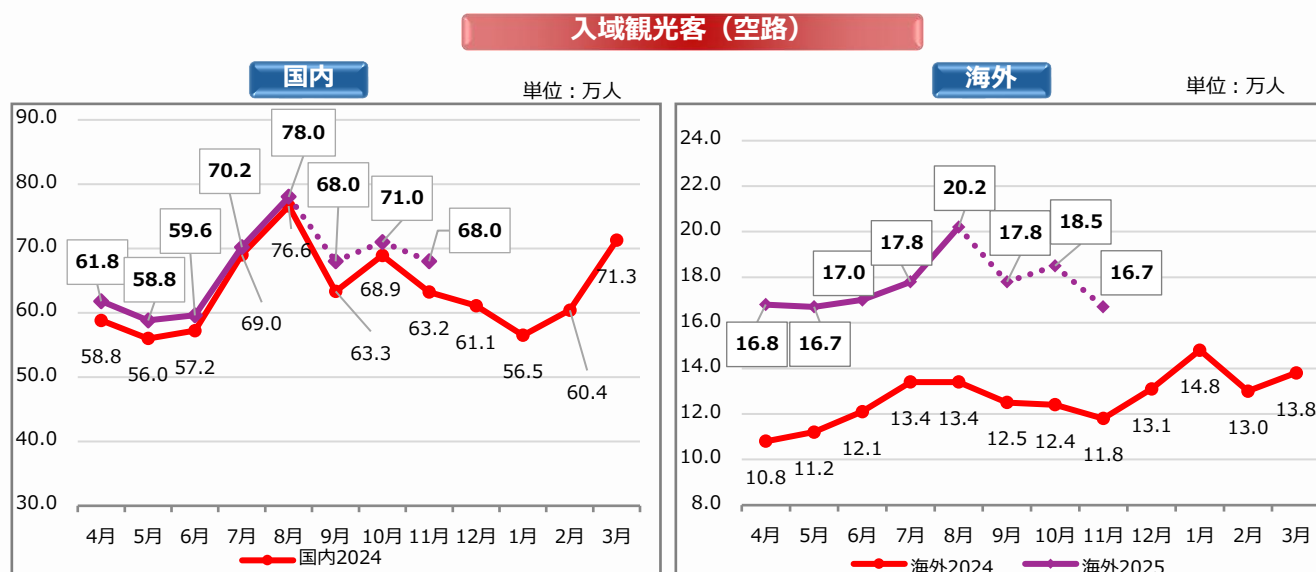
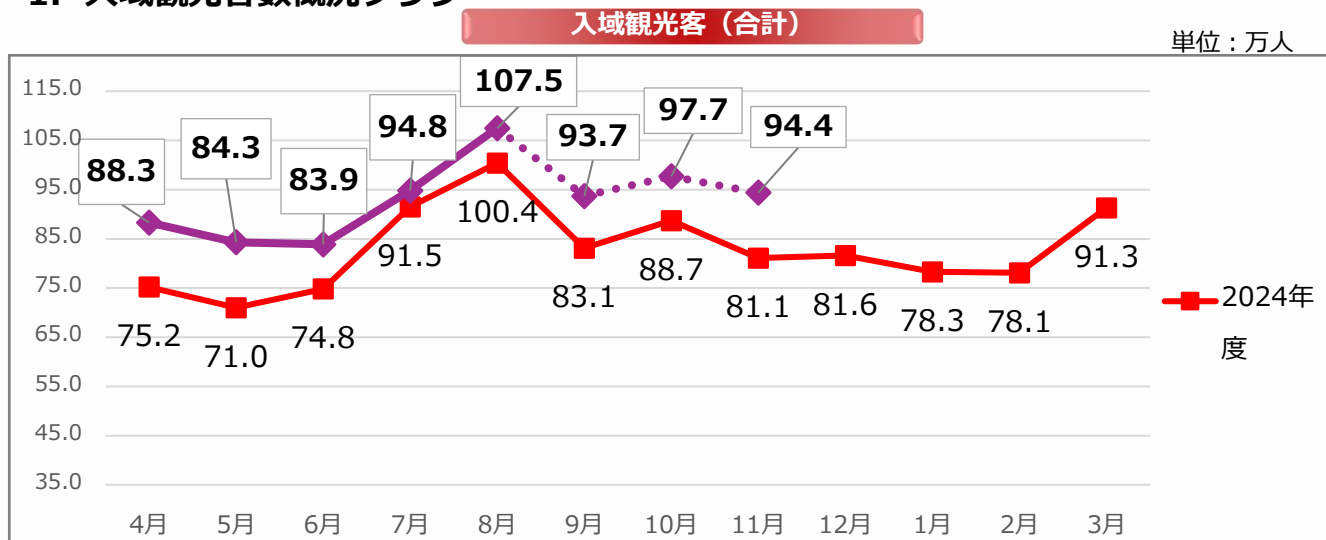
（国内）5,400人（24年11月対比122.7%）となる見通し。
国内クルーズは12回寄港予定。（那覇・東京・横浜・博多・神戸）
那覇発着のフライ&クルーズは7回寄港予定。

（海外）9.2万人（24年11月対比163.1%）となる見通し。
台湾（基隆）や香港、中国（上海・廈門）などから26回寄港予定。うち14回は石垣港または平良港のみ寄港。

（空路）国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの
海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定
（海路）国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの
海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況グラフ



1. 沖縄入域観光客数

合計	総計				空路/ 海路別	総計／空路				総計／海路			
	入域数	前年比	前年増減	前年実績		入域数	前年比	前年増減	前年実績	入域数	前年比	前年増減	前年実績
	(人)	(%)	(人)	(人)		(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)
4月	882,600	117.3%	130,300	752,300	4月	786,200	113.0%	90,600	695,600	96,400	170.0%	39,700	56,700
5月	842,600	118.6%	132,200	710,400	5月	755,000	112.5%	84,000	671,000	87,600	222.3%	48,200	39,400
6月	838,900	112.2%	90,900	748,000	6月	765,600	110.4%	72,400	693,200	73,300	133.8%	18,500	54,800
4-6月計	2,564,100	116.0%	353,400	2,210,700	4-6月計	2,306,800	112.0%	247,000	2,059,800	257,300	170.5%	106,400	150,900
7月	947,800	103.5%	32,400	915,400	7月	879,700	106.8%	55,900	823,800	68,100	74.3%	-23,500	91,600
8月	1,075,000	107.1%	71,200	1,003,800	8月	982,600	109.1%	82,200	900,400	92,400	89.4%	-11,000	103,400
年度計	4,586,900	46.1%	-5,365,800	9,952,700	年度計	4,169,100	45.6%	-4,976,200	9,145,300	417,800	51.7%	-389,600	807,400

国内	国内客／合計				空路/ 海路別	国内客／空路				国内客／海路			
	入域数	前年比	前年増減	前年実績		入域数	前年比	前年増減	前年実績	入域数	前年比	前年増減	前年実績
	(人)	(%)	(人)	(人)		(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)
4月	620,900	104.6%	27,500	593,400	4月	617,900	105.1%	29,800	588,100	3,000	56.6%	-2,300	5,300
5月	601,000	107.0%	39,500	561,500	5月	588,300	105.1%	28,800	559,500	12,700	635.0%	10,700	2,000
6月	599,700	103.8%	22,100	577,600	6月	595,800	104.1%	23,500	572,300	3,900	73.6%	-1,400	5,300
4-6月計	1,821,600	105.1%	89,100	1,732,500	4-6月計	1,802,000	104.8%	82,100	1,719,900	19,600	155.6%	7,000	12,600
7月	704,200	101.7%	11,900	692,300	7月	701,900	101.8%	12,200	689,700	2,300	88.5%	-300	2,600
8月	783,400	101.9%	14,600	768,800	8月	780,400	101.9%	14,300	766,100	3,000	111.1%	300	2,700
年度計	3,309,200	43.2%	-4,352,000	7,661,200	年度計	3,284,300	43.1%	-4,337,900	7,622,200	24,900	63.8%	-14,100	39,000

海外	外国客／合計				空路/ 海路別	外国客／空路				外国客／海路			
	入域数	前年比	前年増減	前年実績		入域数	前年比	前年増減	前年実績	入域数	前年比	前年増減	前年実績
	(人)	(%)	(人)	(人)		(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)
4月	261,700	165%	102,800	158,900	4月	168,300	157%	60,800	107,500	93,400	182%	42,000	51,400
5月	241,600	162%	92,700	148,900	5月	166,700	150%	55,200	111,500	74,900	200%	37,500	37,400
6月	239,200	140%	68,800	170,400	6月	169,800	140%	48,900	120,900	69,400	140%	19,900	49,500
4-6月計	742,500	155%	264,300	478,200	4-6月計	504,800	149%	164,900	339,900	237,700	172%	99,400	138,300
7月	243,600	109%	20,500	223,100	7月	177,800	133%	43,700	134,100	65,800	74%	-23,200	89,000
8月	291,600	124%	56,600	235,000	8月	202,200	151%	67,900	134,300	89,400	89%	-11,300	100,700
年度計	1,277,700	56%	-1,013,800	2,291,500	年度計	884,800	58%	-638,300	1,523,100	392,900	51%	-375,500	768,400

2. 沖縄離島入域観光客数／八重山、宮古、久米島、座間味村、渡嘉敷村

※数値引用元は各地域名横に記載

※各数値は、引用元が定めた統計手法により算出されているため、参考値としてご覧ください。また、各離島の数値と沖縄県総計とは一部重複している部分もあります。

※数値公表のタイミングはそれぞれ異なります。空欄部分は、現在未発表です。

〈沖縄離島の入域観光客数〉

沖縄県入域観光客数 総計 沖縄県観光政策課					●八重山 沖縄県八重山事務所					●宮古 宮古市観光商工部観光商工課				
2025	前年比	前年増減	2024		2025	前年比	前年増減	2024		2025	前年比	前年増減	2024	
4月	882,600	117.3%	+130,300	752,300	4月	132,249	119.0%	+21,108	111,141	4月	96,363	106.8%	+6,099	90,264
5月	842,600	118.6%	+132,200	710,400	5月	119,354	128.8%	+26,663	92,691	5月	96,148	115.9%	+13,214	82,934
6月	838,900	112.2%	+90,900	748,000	6月	122,570	118.7%	+19,299	103,271	6月	106,101	111.8%	+11,159	94,942
4-6月計	2,564,100	116.0%	+353,400	2,210,700	4-6月計	374,173	121.8%	+67,070	307,103	4-6月計	298,612	111.4%	+30,472	268,140
7月	947,800	103.5%	+32,400	915,400	7月	131,942	92.9%	△10,105	142,047	7月	116,093	95.4%	△5,643	121,736
8月	1,075,000	107.1%	+71,200	1,003,800	8月	0	0.0%	△163,994	163,994	8月	122,706	92.9%	△9,406	132,112
年度計	4,586,900	46.1%	△5,365,800	9,952,700	年度計	506,115	36.0%	△900,258	1,406,373	年度計	537,411	45.1%	△655,460	1,192,871

●久米島 久米島町観光協会					●座間味村 座間味村役場産業振興課					●渡嘉敷村 渡嘉敷村商工観光課				
2025	前年比	前年増減	2024		2025	前年比	前年増減	2024		2025	前年比	前年増減	2024	
4月	3,212	97.3%	△90	3,302	4月	9,393	130.2%	+2,180	7,213	4月	12,441	135.6%	+3,267	9,174
5月	4,645	106.8%	+294	4,351	5月	12,399	137.2%	+3,359	9,040	5月	14,184	133.4%	+3,550	10,634
6月	7,289	104.0%	+279	7,010	6月	12,558	145.1%	+3,905	8,653	6月	17,620	141.4%	+5,160	12,460
4-6月計	15,146	103.3%	+483	14,663	4-6月計	34,350	137.9%	+9,444	24,906	4-6月計	44,245	137.1%	+11,977	32,268
7月	8,943	97.4%	△241	9,184	7月	12,928	76.0%	△4,090	17,018	7月	12,664	72.6%	△4,787	17,451
8月	12,846	100.1%	+14	12,832	8月	21,584	110.8%	+2,112	19,472	8月	21,327	101.2%	+258	21,069
年度計	36,935	41.7%	△51,592	88,527	年度計	68,862	65.3%	△36,663	105,525	年度計	78,236	63.0%	△45,981	124,217

3. 入域数／航路別入域実績 (2025年度)

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

国内
海外

国内 海外	6月		4-6月計		7月		8月		上期計				
	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	入域数 シェア	対前年 増減数	対前年 増減数	
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	ランキング	
国内 ／ 航路別	札幌	4,000	100	12,000	+100	4,200	100	4,400	0	20,600	0.5%	+200	16
	仙台	3,800	0	11,900	+900	4,600	△ 600	4,700	△ 600	21,200	0.5%	△300	23
	福島	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	18
	新潟	0	0	4,700	+800	0	0	0	0	4,700	0.1%	+800	12
	富山	0	0	100	+100	0	0	0	0	100	0.0%	+100	17
	小松	3,000	300	9,300	+1,200	3,200	200	3,500	100	16,000	0.4%	+1,500	9
	東京	287,000	8,100	867,800	+39,300	353,400	5,600	377,300	3,500	1,598,500	###	+48,400	1
	茨城	2,900	△ 400	8,400	△1,200	3,300	△ 400	3,800	△ 200	15,500	0.4%	△1,800	25
	静岡	2,400	2,400	7,400	+6,500	3,100	200	3,800	200	14,300	0.4%	+6,900	6
	名古屋	49,900	2,700	153,200	+9,600	63,600	6,900	70,900	3,500	287,700	7.1%	+20,000	2
	伊丹	42,600	2,300	125,400	+5,600	50,900	2,900	58,500	3,500	234,800	5.8%	+12,000	4
	関西	65,300	4,300	199,600	+14,400	67,300	△ 4,300	78,400	△ 200	345,300	8.5%	+9,900	5
	神戸	26,900	△ 500	78,900	△3,100	29,200	100	35,000	△ 100	143,100	3.5%	△3,100	26
	岡山	3,300	△ 100	12,200	+400	3,700	100	4,000	200	19,900	0.5%	+700	14
	広島	4,000	△ 800	12,700	△200	4,200	△ 500	4,800	200	21,700	0.5%	△500	24
	岩国	2,800	200	9,300	+1,100	3,400	200	4,100	300	16,800	0.4%	+1,600	8
	高松	3,700	△ 800	13,400	△2,800	3,400	△ 800	4,100	△ 1,300	20,900	0.5%	△4,900	27
	松山	2,900	200	9,200	+900	3,200	100	3,600	△ 200	16,000	0.4%	+800	12
	高知	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	18
	福岡	76,300	4,500	227,000	+11,300	84,400	2,600	99,400	4,800	410,800	###	+18,700	3
	北九州	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	18
	長崎	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	18
	熊本	3,200	100	10,000	+600	3,600	△ 100	3,900	100	17,500	0.4%	+600	15
	大分	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	18
	宮崎	2,800	100	8,500	+300	3,200	200	3,900	400	15,600	0.4%	+900	11
	鹿児島	10,800	700	33,600	+2,000	12,300	△ 600	15,300	400	61,200	1.5%	+1,800	7
	その他	1,800	△ 1,600	6,700	+1,000	0	0	0	0	6,700	0.2%	+1,000	10
外国 ／ 国籍別	台湾	114,900	+33,100	299,900	+98,400	0	+0	0	+0	299,900	7.4%	+98,400	-
	韓国	45,000	+14,100	146,600	+53,100	0	+0	0	+0	146,600	3.6%	+53,100	-
	中国本土	26,700	+10,300	106,100	+49,000	0	+0	0	+0	106,100	2.6%	+49,000	-
	香港	16,800	+3,100	53,500	+8,800	0	+0	0	+0	53,500	1.3%	+8,800	-
	アメリカ	4,200	+0	14,300	+3,200	0	+0	0	+0	14,300	0.4%	+3,200	-
	カナダ	500	△200	3,000	+600	0	+0	0	+0	3,000	0.1%	+600	-
	イギリス	600	+100	2,900	+0	0	+0	0	+0	2,900	0.1%	+0	-
	フランス	400	+200	1,500	+600	0	+0	0	+0	1,500	0.0%	+600	-
	タイ	1,300	△200	6,000	+1,000	0	+0	0	+0	6,000	0.1%	+1,000	-
	シンガポール	3,000	+1,400	8,200	+3,900	0	+0	0	+0	8,200	0.2%	+3,900	-
	マレーシア	700	+200	2,700	+1,200	0	+0	0	+0	2,700	0.1%	+1,200	-
	インドネシア	300	+0	1,300	+500	0	+0	0	+0	1,300	0.0%	+500	-
	オーストラリア	700	△100	4,000	+1,500	0	+0	0	+0	4,000	0.1%	+1,500	-
	その他※	24,100	+6,800	92,500	+42,500	0	+0	0	+0	92,500	2.3%	+42,500	-
総 計		838,600	+90,600	2,563,800	+353,100	704,200	+11,900	783,400	14,600	4,051,400	100%	+379,600	-

※その他には乗務員を含む

4. 入域数／エリア構成比 (25年度累計／同期比)

国内入域エリア別 (4月～8月)

	構成比	
	比率	前年差
東日本	51.1%	△1.1%
中部	9.1%	△0.1%
関西・中四国	24.6%	+0.6%
九州	15.2%	+0.5%

海外入域エリア別 (4月～6月)

	構成比	
	比率	前年差
台湾	40.4%	△1.4%
韓国	19.7%	△2.6%
中国本土	14.3%	+8.0%
香港	7.2%	△4.6%
海外その他	18.4%	+0.6%

5. 航空旅客輸送実績／需給バランス

《数値について》
※国内数値は、沖縄県観光政策課発表より引用、外国数値はOCVB独自調査によるもの
※いずれも沖縄向け（定期路線、下り便）の数値
※国内は、チャーター便など不定期路線およびLCCの輸送実績が含まれていません
※外国は、チャーター便など不定期路線および各国一部航空会社の輸送実績が含まれていません

参考数値

● 月ごとの供給／需要／利用率

	4月	5月	6月	4-6月計	7月	8月	年度計	参考値 FSC・LCC内訳
国内	提供座席 795,095 輸送実績 627,551 利用率 78.9	提供座席 801,048 輸送実績 590,463 利用率 73.7	提供座席 770,277 輸送実績 606,324 利用率 78.7	提供座席 2,366,420 輸送実績 1,824,338 利用率 77.1	提供座席 849,460 輸送実績 726,817 利用率 85.6	提供座席 874,449 輸送実績 805,895 利用率 92.2	提供座席 4,090,329 輸送実績 3,357,050 利用率 82.1	
海外	提供座席 181,237 輸送実績 147,804 利用率 81.6	提供座席 186,882 輸送実績 147,067 利用率 78.7	提供座席 180,838 輸送実績 149,102 利用率 82.5	提供座席 548,957 輸送実績 443,973 利用率 80.9	提供座席 187,953 輸送実績 149,109 利用率 79.3	提供座席 184,778 輸送実績 161,942 利用率 87.6	提供座席 921,688 輸送実績 755,024 利用率 81.9	
合計	提供座席 976,332 輸送実績 775,355 利用率 79.4	提供座席 987,930 輸送実績 737,530 利用率 74.7	提供座席 951,115 輸送実績 755,426 利用率 79.4	提供座席 2,915,377 輸送実績 2,268,311 利用率 77.8	提供座席 1,037,413 輸送実績 875,926 利用率 84.4	提供座席 1,059,227 輸送実績 967,837 利用率 91.4	提供座席 5,012,017 輸送実績 4,112,074 利用率 82.0	

	FSC	LCC
令和7年 8月	667,500	112,900
令和6年 8月	652,800	113,300
増減数	+14,700	△400
前年同月比	102.3%	99.6%
FSC・LCC比率	85.5%	14.5%

参考数値

● 路線別の供給／需要／利用率（国内累計）

国内		輸送実績（需要）				提供座席（供給）				利用率			需給 前年比 差異	概況
発地	着地	2025年度 累計	2024年度 同期累計	同期比		2025年度 累計	2024年度 同期累計	同期比		2025年度 累計	2024年度 同期累計	増減		
				前年比	増減			前年比	増減					
札幌	那覇	0	0		+0	0	0		+0	-				○
仙台	那覇	25,091	26,132	96.0%	△1,041	29,488	38,854	75.9%	△9,366	85%	67%	+18%	+20%	○
新潟	那覇	5,733	4,706	121.8%	+1,027	10,126	9,960	101.7%	+166	57%	47%	+9%	+20%	○
小松	那覇	19,109	17,630	108.4%	+1,479	25,245	25,080	100.7%	+165	76%	70%	+5%	+8%	○
茨城	那覇	18,954	20,986	90.3%	△2,032	26,904	26,904	100.0%	+0	70%	78%	△8%	△10%	×
羽田	那覇	1,409,592	1,374,053	102.6%	+35,539	1,700,337	1,694,411	100.3%	+5,926	83%	81%	+2%	+2%	○
羽田	宮古	118,551	110,221	107.6%	+8,330	130,256	122,805	106.1%	+7,451	91%	90%	+1%	+1%	○
羽田	石垣	157,944	145,897	108.3%	+12,047	176,457	167,940	105.1%	+8,517	90%	87%	+3%	+3%	○
羽田	久米島	5,773	6,278	92.0%	△505	7,095	8,085	87.8%	△990	81%	78%	+4%	+4%	○
羽田	下地島	22,345	23,531	95.0%	△1,186	27,081	26,727	101.3%	+354	83%	88%	△6%	△6%	×
静岡	那覇	17,351	9,046	191.8%	+8,305	25,389	12,117	209.5%	+13,272	68%	75%	△6%	△18%	×
東日本エリア計		1,800,443	1,738,480	103.6%	+61,963	2,158,378	2,132,883	101.2%	+25,495	83%	82%	+2%	+2%	○
名古屋	那覇	227,872	217,983	104.5%	+9,889	295,571	269,410	109.7%	+26,161	77%	81%	△4%	△5%	×
名古屋	宮古	23,551	29,647	79.4%	△6,096	26,387	36,452	72.4%	△10,065	89%	81%	+8%	+7%	○
名古屋	石垣	23,159	27,984	82.8%	△4,825	26,387	36,287	72.7%	△9,900	88%	77%	+11%	+10%	○
中部エリア計		274,582	275,614	99.6%	△1,032	348,345	342,149	101.8%	+6,196	79%	81%	△2%	△2%	△
伊丹	那覇	279,119	263,860	105.8%	+15,259	314,195	316,272	99.3%	△2,077	89%	83%	+5%	+6%	○
伊丹	宮古	0	0		+0	0	0		+0	-			-	-
伊丹	石垣	5,643	6,553	86.1%	△910	6,372	8,300	76.8%	△1,928	89%	79%	+10%	+9%	○
関西	那覇	131,560	126,871	103.7%	+4,689	165,157	168,886	97.8%	△3,729	80%	75%	+5%	+6%	○
関西	宮古	47,647	50,552	94.3%	△2,905	54,663	63,584	86.0%	△8,921	87%	80%	+8%	+8%	○
関西	石垣	45,923	39,457	116.4%	+6,466	53,586	47,495	112.8%	+6,091	86%	83%	+3%	+4%	○
神戸	那覇	152,728	154,974	98.6%	△2,246	194,643	196,156	99.2%	△1,513	78%	79%	△1%	△1%	△
神戸	下地島	20,721	22,568	91.8%	△1,847	27,081	26,727	101.3%	+354	77%	84%	△8%	△10%	×
岡山	那覇	24,122	23,358	103.3%	+764	27,225	26,895	101.2%	+330	89%	87%	+2%	+2%	○
広島	那覇	26,317	26,996	97.5%	△679	29,682	31,225	95.1%	△1,543	89%	86%	+2%	+2%	○
岩国	那覇	20,273	18,582	109.1%	+1,691	25,398	25,066	101.3%	+332	80%	74%	+6%	+8%	○
高松	那覇	25,365	31,449	80.7%	△6,084	29,763	42,386	70.2%	△12,623	85%	74%	+11%	+10%	○
松山	那覇	19,394	18,410	105.3%	+984	24,658	25,066	98.4%	△408	79%	73%	+5%	+7%	○
関西・中四国エリア計		798,812	783,630	101.9%	+15,182	952,423	978,058	97.4%	△25,635	84%	80%	+4%	+5%	○
福岡	那覇	372,741	346,456	107.6%	+26,285	488,862	494,834	98.8%	△5,972	76%	70%	+6%	+9%	○
熊本	那覇	21,146	20,565	102.8%	+581	25,398	24,900	102.0%	+498	83%	83%	+1%	+1%	○
宮崎	那覇	18,948	17,966	105.5%	+982	26,474	25,960	102.0%	+514	72%	69%	+2%	+3%	○
鹿児島	那覇	39,703	37,749	105.2%	+1,954	52,946	52,595	100.7%	+351	75%	72%	+3%	+5%	○
与論	那覇	15,264	14,936	102.2%	+328	17,354	17,154	101.2%	+200	88%	87%	+1%	+1%	○
沖永良部	那覇	5,285	5,509	95.9%	△224	7,104	7,174	99.0%	△70	74%	77%	△2%	△3%	△
九州エリア計		473,087	443,244	106.7%	+29,843	618,138	622,761	99.3%	△4,623	77%	71%	+5%	+7%	○
国内/合計		3,346,924	3,240,968	103.3%	+105,956	4,077,284	4,075,851	100.0%	+1,433	82%	80%	+3%	+3%	○

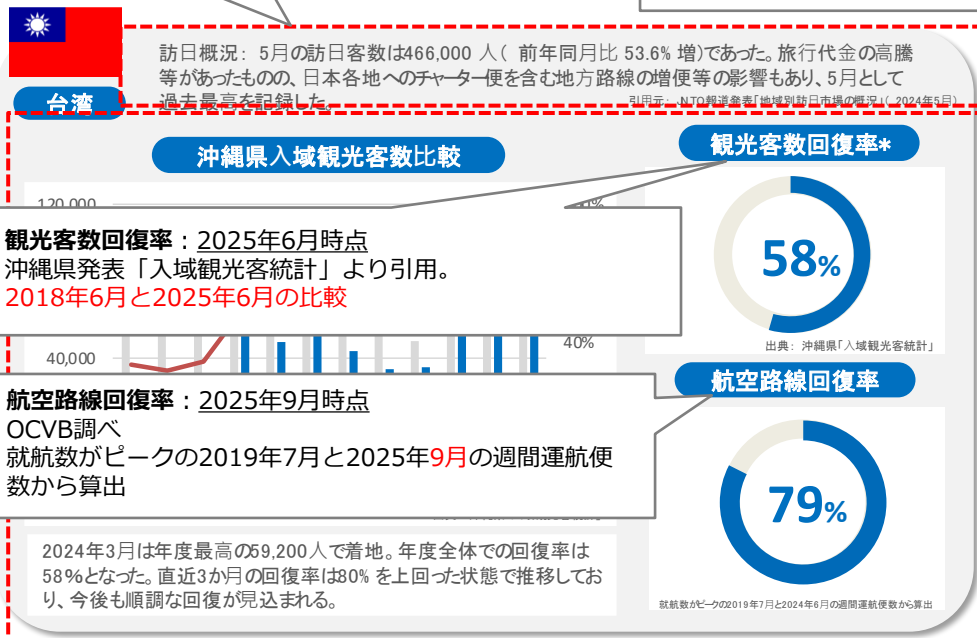
※海外路線の情報に関しては、入域観光客数（国別）6pならびに就航便数14pでご確認ください。

概況について ※一部実績が含まれていないため、参考としてください。
○ 実績（前年比）が、座席提供数（前年比）を上回る
△ 実績（前年比）が、座席提供数（前年比）を下回る（±0～▲%）
× 実績（前年比）が、座席提供数（前年比）を下回る（▲5%以上）

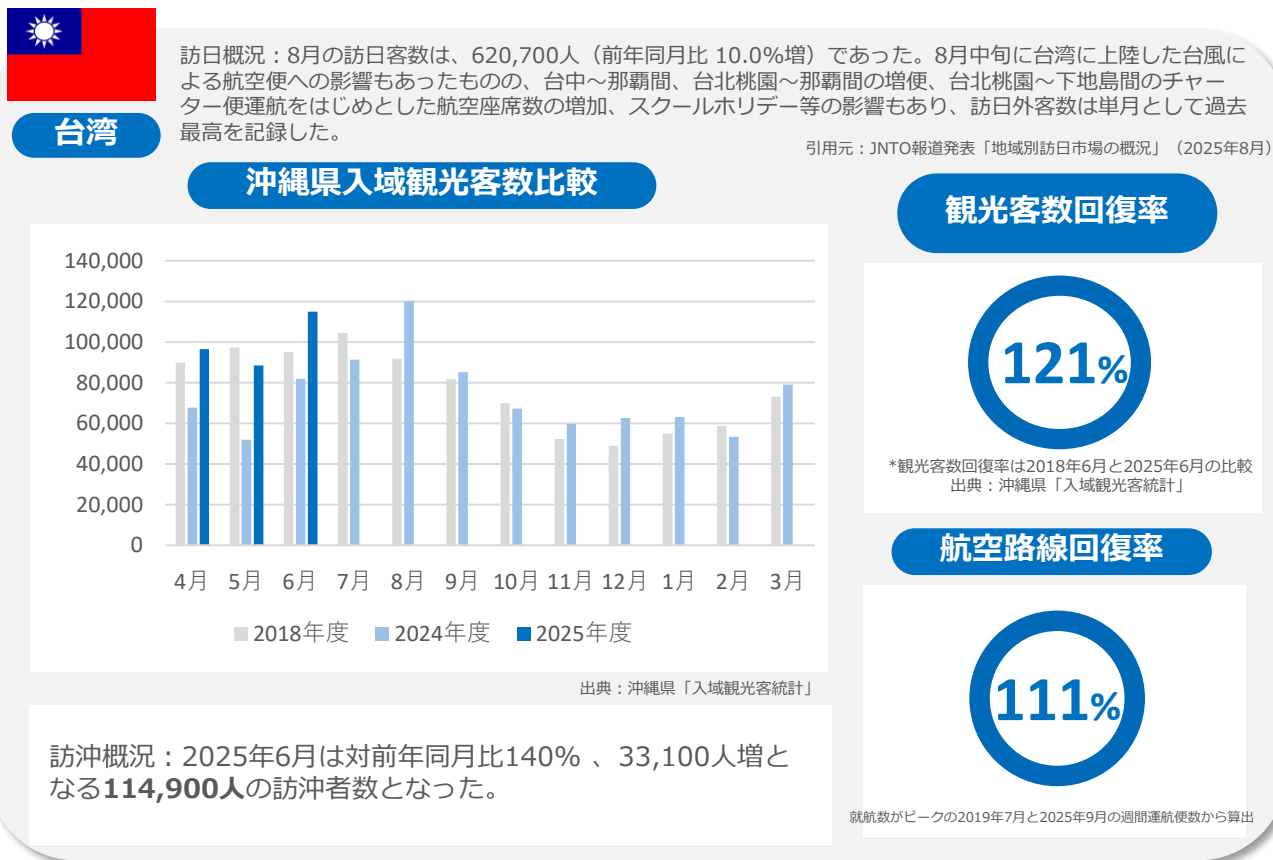
市場別概況の表の見方

訪日概況：2025年8月時点
JNTO報道発表
「地域別訪日市場の概況」より引用。

沖縄県入域観光客数概況：2025年6月時点
沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。
※法務省出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、
3か月後の同庁の公表後に確定版として公表。



市場別概況



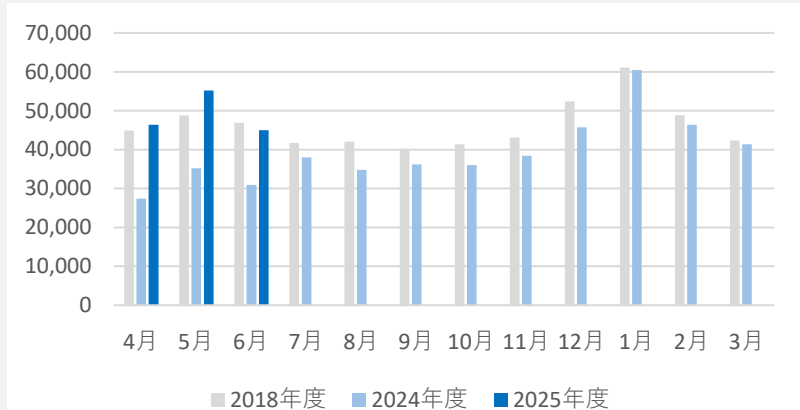


韓国

訪日概況：8月の訪日客数は660,900人（前年同月比 8.0%増）であった。東南アジアや中国等への旅行需要が高まりつつあるものの、金浦～中部間の増便、清州～神戸間のチャーター便の運航をはじめとした航空座席数の増加、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

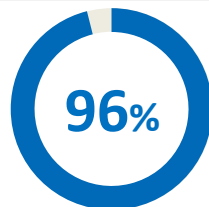
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

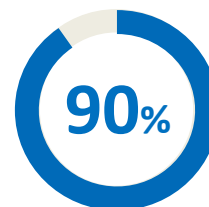
訪沖概況：2025年6月は、対前年同月比146%、14,100人増となる**45,000人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年9月の週間運航便数から算出

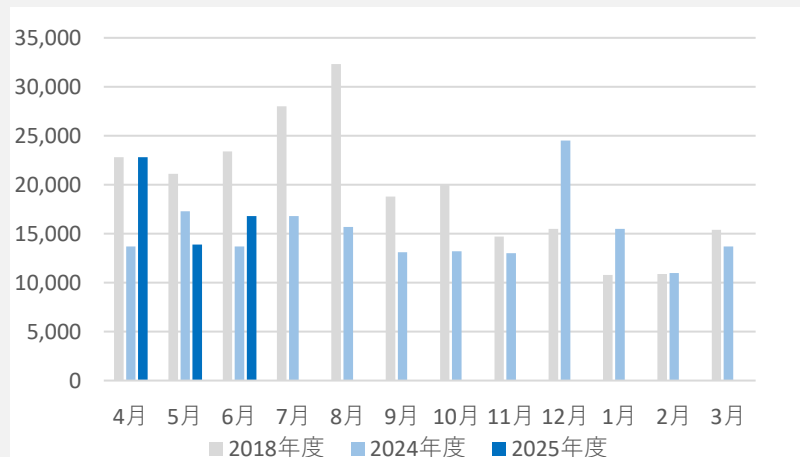


香港

訪日概況：8月の訪日客数は、226,100人（前年同月比 8.3%減）であった。スクールホリデー等はあったものの、日本で地震が発生するという情報がSNS等で拡散されていた。8月中旬に香港に接近した台風による航空便への影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

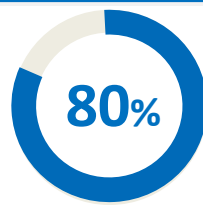
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

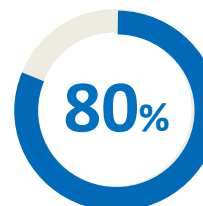
訪沖概況：2025年6月は、対前年同月比123%、3,100人増となる**16,800人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年9月の週間運航便数から算出

7. エリア概況（海外）中国・シンガポール

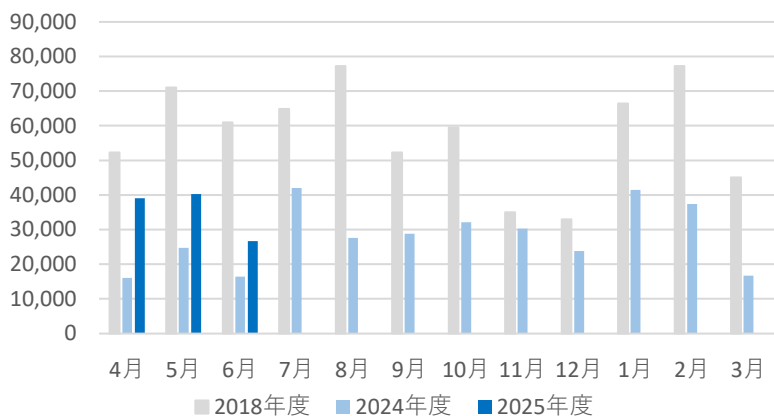


中国

訪日概況：8月の訪日客数は、1,018,600人（前年同月比 36.5%増）であった。運城～中部間の新規就航、西安～福岡間の復便等を含む地方路線による航空座席数の増加、クルーズ船の寄港、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

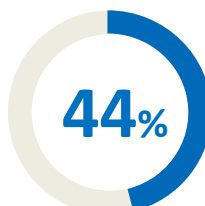
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

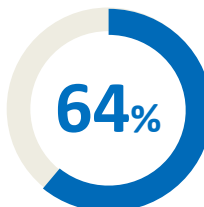
訪沖概況：2025年6月は対前年同月比163%、10,300人増となる**26,700人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年9月の週間運航便数から算出

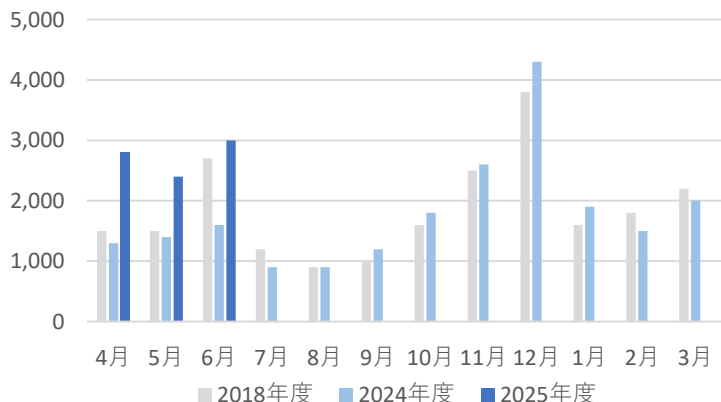


シンガポール

訪日概況：8月の訪日客数は、20,500人（前年同月比 17.3%減）であった。夏場は訪日需要が落ち着く時期であることや、昨年は8月末からであったスクールホリデーが今年は9月からとなったことに加え、ナショナルデーが連休とならず、建国60周年の節目となり国外旅行需要が抑えられたこと、一部路線での減便等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

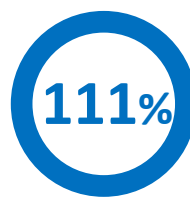
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年6月は対前年同月比188%、1,400人増となる**3,000人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率

ジェットスター・アジア航空
シンガポール-那覇 廃止
(2025年8月～)

7. エリア概況（海外）タイ・マレーシア

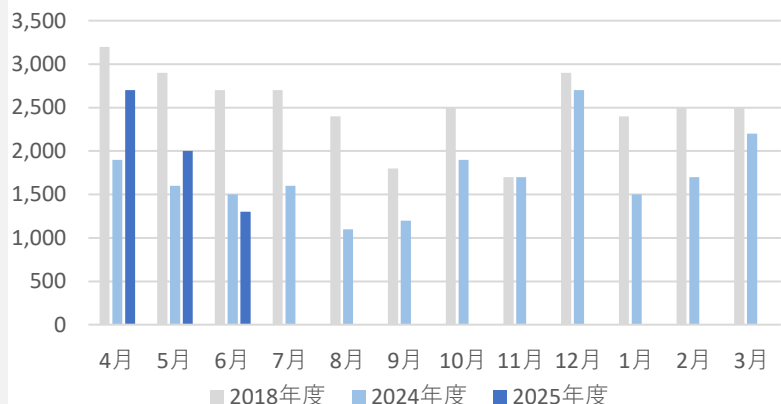


タイ

訪日概況：8月の訪日客数は、35,500人（前年同月比 2.4%増）であった。夏場は訪日需要が落ち着く時期であることや、経済の不透明感による海外旅行需要の低迷等があるものの、バンコク～羽田間の増便等による座席供給数の増加や、祝日の影響等により、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

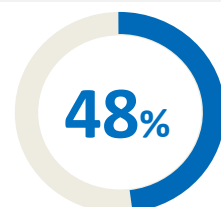
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

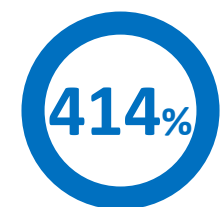
訪沖概況：2025年6月は対前年同月比87%、200人減となる**1,300人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率

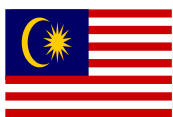


*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年9月の週間運航便数から算出

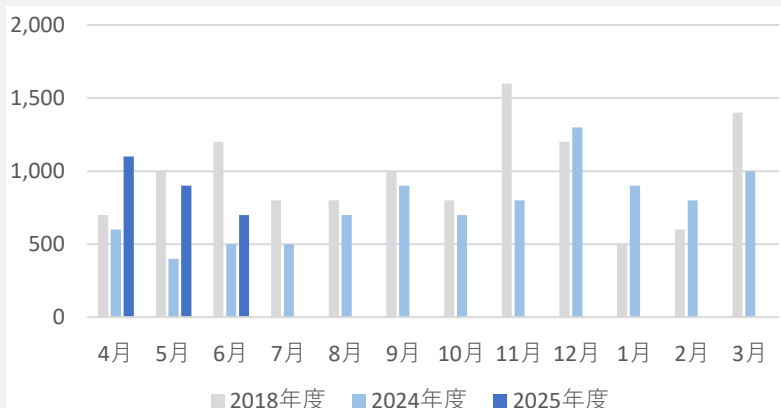


マレーシア

訪日概況：8月の訪日客数は21,100人（前年同月比 22.9%増）であった。夏場は訪日需要が落ち着く時期であることや、査証免除措置による訪中旅行の継続的な人気等があるものの、マレーシアリングgit高や祝日の影響等もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

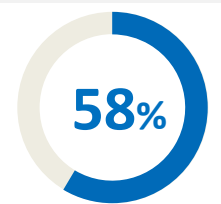
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年6月は対前年同月比140%、200人増となる**700人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月は就航がなかったため
2025年9月の週間運航便数は6便増としています

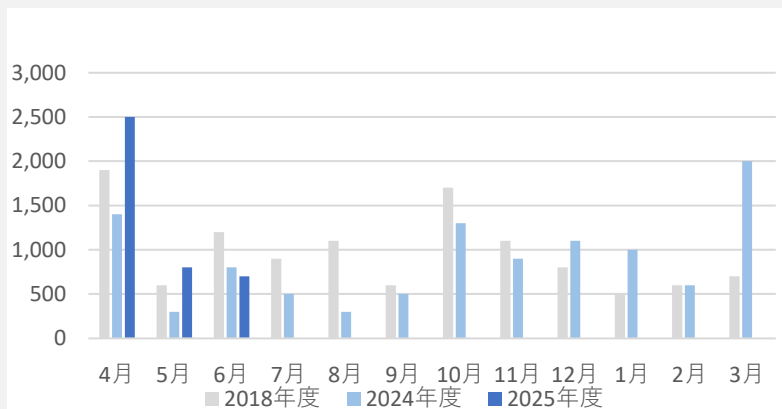


オーストラリア

訪日概況：8月の訪日客数は41,200人（前年同月比 0.5%増）であった。減便等により前年同月と比較して航空座席数が減少したものの、継続する訪日旅行人気もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

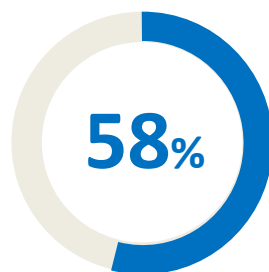
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年6月は対前年同月比88%、100人減となる**700人**の訪沖者数となった。

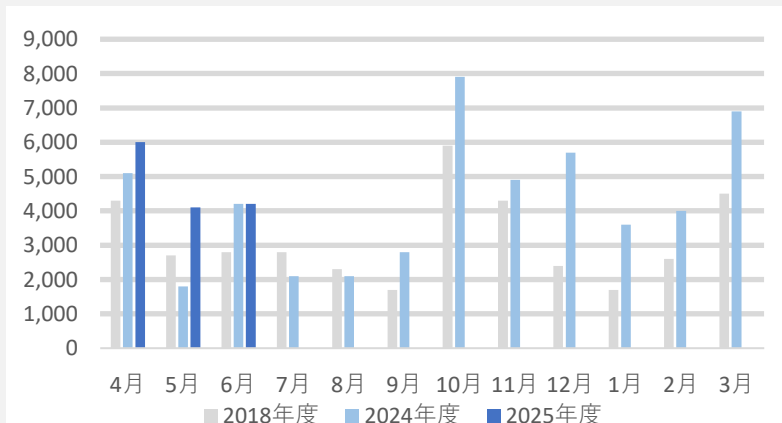


アメリカ

訪日概況：8月の訪日客数は194,500人（前年同月比 11.7%増）であった。スクールホリデーや継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

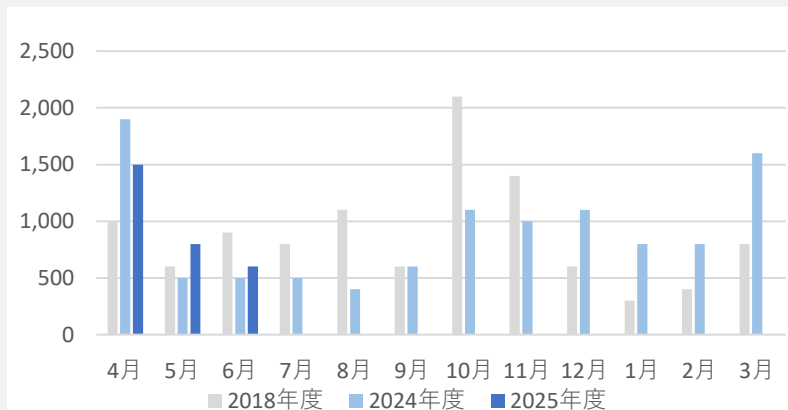
訪沖概況：2025年6月は対前年同月比100%となる**4,200人**の訪沖者数となった。

イギリス(本
国)

訪日概況：8月の訪日客数は36,700人（前年同月比 24.8%増）であった。スクールホリデーや継続する訪日旅行人気に加え、中国および香港経由等の経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

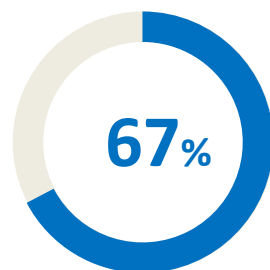
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年6月は対前年同月比120%、100人増となる**600人**の訪沖者数となった。

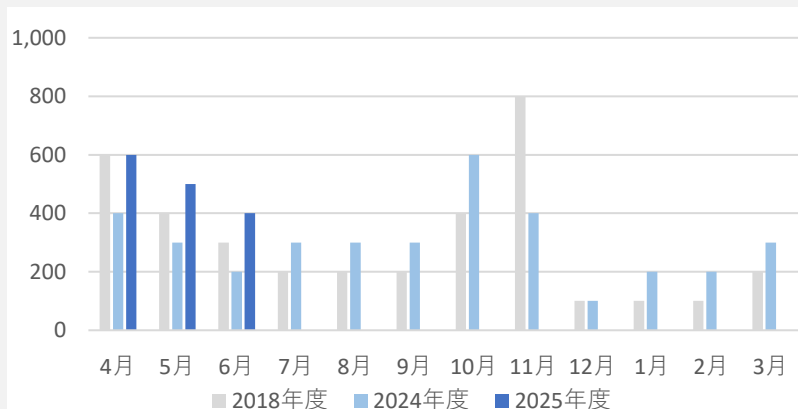


フランス

訪日概況：8月の訪日客数は37,200人（前年同月比 18.4%増）であった。スクールホリデーや継続する訪日旅行人気に加え、若年層の訪日需要の高まりもあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

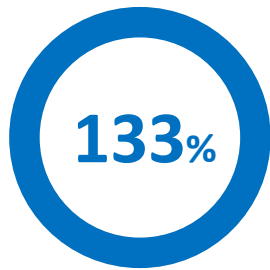
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年8月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年6月と2025年6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年6月は対前年同月比200%、200人増となる**400人**の訪沖者数となった。

(2025年9月30日現在)

沖縄県国際線運航状況

那覇空港

運航路線				航空会社	種別	便名 (着・発)	運航曜日								運航時間			
							便数/週	月	火	水	木	金	土	日	備考	到着	出発	
台湾	台北	CI		チャイナエアライン	FSC	120/121 122/123	7 7	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●		10:45 19:45	11:50 20:55		
		JX		スターラックス航空	FSC	870/871	7	●	●	●	●	●	●		14:40	15:50		
		IT		タイガーエア台湾	LCC	230/231 232/233	7 7	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●		9:20 20:50	10:10 21:40		
		BR		エバー航空	FSC	112/113 186/185	7 7	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●		9:15 18:55	10:15 19:55		
		MM		Peach Aviation	LCC	922/923 926/925 928/929	7 7 7	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●		12:20 17:35 20:50	8:10 13:15 16:45		
		高雄	IT		タイガーエア台湾	LCC	288/289	7	●	●	●	●	●	●		13:00	14:00	
			CI		チャイナエアライン	FSC	132/133	6	●	●	●		●	●	●		18:45	19:45
		台中	JX		スターラックス航空	FSC	302/303 312/313	6 4	● ●	● ●	● ●		● ●	● ●		15:45 16:35	16:45 19:10	
	香港	香港	UO		香港エクスプレス	LCC	820/821 824/825	7 7	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●		10:40 19:30	11:35 20:25	
			HX		香港航空	FSC	676/679 658/659	7 7	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●		11:10 15:10	12:00 18:10	
韓国			仁川	OZ		アシアナ航空	FSC	172/171	7	●	●	●	●	●	●		11:15	12:15
				KE		大韓航空	FSC	755/756	7	●	●	●	●	●	●	●		12:00
	TW			ティーウェイ航空	LCC	281/282	7	●	●	●	●	●	●	●		13:35	14:35	
	7C			チェジュ航空	LCC	1802/1801	7	●	●	●	●	●	●	●		15:45	16:45	
	ZE			イースター航空	LCC	631/632	7	●	●	●	●	●	●	●		14:00	15:00	
	LJ			ジンエアー	LCC	341/342	7	●	●	●	●	●	●	●		12:20	13:30	
	釜山	LJ		ジンエアー	LCC	371/372	7	●	●	●	●	●	●	●		10:05	11:05	
		ZE		イースター航空	LCC	963/964	7	●	●	●	●	●	●	●		10:00	11:00	
中国	上海	9C		春秋航空	LCC	6977/6978	7	●	●	●	●	●	●	●		14:00	15:00	
		MU		中国東方航空	FSC	2085/2086 287/288	7 7	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●		13:30 15:30	14:30 16:30	
		北京	CA		中国国際航空	FSC	831/B32	2			●		●			17:00	18:00	
	福州	MF		厦門航空	FSC	8731/8732	2				●		●		19:00	20:00		
タイ	バンコク(ドンムアン)	FD		タイ・エアアジア	LCC	240/241 230/231 518/519	4 7 7		● ● ●		● ● ●		● ● ●		15:05 15:55 16:25	16:05 16:55 17:45		
		SL		タイ・ライオン・エア	LCC	390/391	4		●		●		●	●		10:55	11:55	
		バンコク(スワンナプーム)	VZ		タイ・ベトジェット・エア	LCC	568/569	7	●	●	●	●	●	●	●		17:05	18:05
	マレーシア	クアラルンプール	OD		パティックエアマレーシア	LCC	882/883	6	●	●	●		●	●	●		15:50	16:50
							237	33	34	34	32	33	35	36				

下地島空港

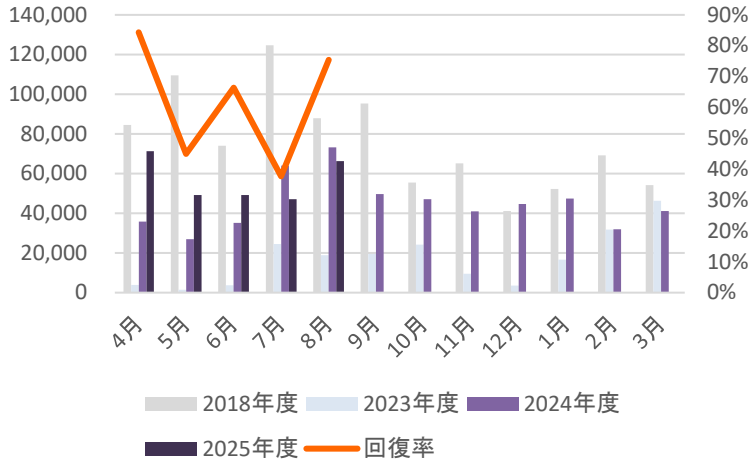
運航路線		航空会社		種別	便名	運航曜日								運航時間		
						便数/週	月	火	水	木	金	土	日	備考	到着	出発
台湾	台北	JX		スターラックス	FSC	886/887	2		●			●		8/22～運航開始	10:55	11:55
香港	香港	UO		香港エクスプレス	LCC	814/815	4		●		●	●			17:25	18:10
韓国	仁川	LJ		ジンエアー	LCC	357/358	5	●		●	●		●	●	10:45	11:45
							11	1	2	1	2	2	1	2		

石垣空港

運航路線		航空会社		種別	便名	運航曜日										運航時間	
						便数/週	月	火	水	木	金	土	日	備考	到着	出発	
台湾	台北	CI		チャイナエアライン	FSC	124/125	2			●			●		土曜日は8:50着、9:50発	8:25	9:25
		IT		タイガーエア台湾	LCC	736/737	2					●		●	7/17～運航開始	14:00	14:50
香港	香港	UO		香港エクスプレス	LCC	812/817	3		●			●		●		10:40	11:35
韓国	仁川	LJ		ジンエアー	LCC	361/362	5	●	●		●	●		●		12:00	13:00
							12	1	2	1	2	2	1	3			

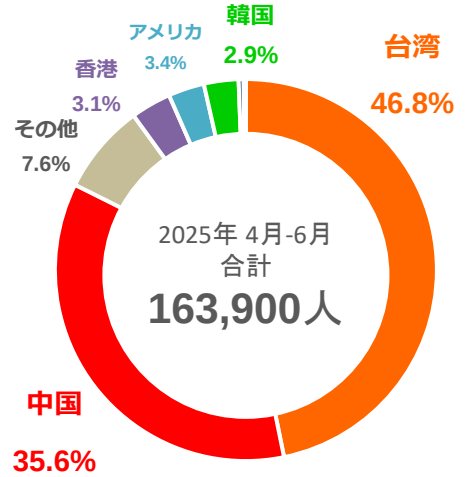
クルーズ市場概況

クルーズ（外国客、海路） | 入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

国籍内訳



*外国人入域観光客数（海路）*乗務員除く

2018年度(ピーク時)の同期と比較

台湾	韓国	中国	香港
76%	155%	50%	44%

令和7年8月の海路からの外国人入域客数（乗務員を除く）は、66,300人となり2018年の同月と比べ75%となった。
来月は中国や台湾からの大型船のほか、フィリピンからの寄港予定もあるため好調に推移すると予想される。

X（旧Twitter）にてクルーズ船の寄港情報を事前に発信

（一財）沖縄観光コンベンションビューローのクルーズ船公式アカウント。沖縄に寄港するクルーズ船の寄港情報を事前に地域の住民・事業者の皆様向けに発信します。クルーズ船寄港時のタクシー配車、店頭での販売強化など皆様のお役に立てば幸いです。以下のアカウント名より検索してフォローをお願いします。

アカウント名：【公式】沖縄クルーズ船寄港情報
プロフィール URL：
<https://twitter.com/OkinawaCruise>



クルーズ船寄港情報

那覇港：<https://nahaport.jp/users/kyakusen/>

石垣港：<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusenn/370>

平良港：<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kouwan/>

本部港：

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022459/1022074.html>

中城湾港：

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022455/1013162.html>



国内向けプロモーションについて

●持続可能な観光地づくりを目指す「エシカルトラベルオキナワ」webサイトリニューアル

沖縄県・OCVBが令和3年度より取り組む「エシカルトラベルオキナワ」のwebサイトが、このたびリニューアルいたしました。

■「エシカルトラベルオキナワ」とは？

沖縄を訪れる観光客・観光事業者・沖縄県民が共に「沖縄らしさ」を育み、発展させることを目指す新しい沖縄観光のかたちとして、令和3年度より提案しています。沖縄の自然、伝統、産業に触れながら、“地域と過ごす旅”を通じ、訪れる観光客一人ひとりが地域の一員のように過ごすとともに、迎え入れる観光事業者、沖縄県民も同様の考えのもと、旅行者・受入側の双方が、地域の暮らしや自然環境に配慮した旅を心がけるきっかけになるような取り組みを進めています。

現在、約60の事業者さまを掲載しておりますが、カテゴリで検索しやすい導線づくりや、イラストを取り入れる等、より親しみやすいデザインを取入れしました。今後、新規記事も随時公開する予定です。あわせて、新たに開設したInstagramを通じ、エシカルトラベルをより身近に感じられる情報発信を目指します。



(上)イラストや色使いで、より親しみやすい雰囲気になりました！

エシカルトラベルオキナワ | 沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語



ETHICALTRAVEL_OKINAWA



人や環境に配慮した
新しい時代の旅のカタチ

お問い合わせ先：

国内プロモーション課（担当） 棚原、赤嶺、中山

TEL：098-859-6125 E-mail：kokunai_rosen@ocvb.or.jp

●第38回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメントの経済効果は31億円、 ゴルフツーリズム客の県内消費額は一般観光客の1.4倍/りゅうぎん総合研究所と共同調査・発表しました

OCVBは株式会社りゅうぎん総合研究所と連携し、ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメントが沖縄へもたらす効果について共同調査及び発表を行いました。OCVBにて大会来場者へのアンケート調査を実施し、りゅうぎん総合研究所にてその集計結果を分析し、経済波及効果を算出したうえで調査レポートとしてまとめました。調査から明らかになった大会観戦に訪れた県外客の特徴は次の通りです。

ーダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント観戦に訪れた県外客の特徴ー

年代…「50代以上」が77.9%と約8割を占める

職業…「会社役員」の割合が24.7%を占める

年収…「500万円～1,000万円」が32.0%、「1000万円以上」が42.4%と高収入層が多い

観戦以外の過ごし方…「ゴルフプレー」が55.2%と過半数を占める

県内消費額…平均136,175円と一般観光客の1.4倍

滞在日数…「6泊7日以上」が14.0%と長期滞在の割合が大きい（一般観光客：6.8%）

これらのことから、ゴルフツーリズムの更なる推進は沖縄観光の課題である「年間を通した需要の平準化」、「量から質への転換」など、沖縄経済への大きな一助となることが期待されます。OCVBでは引き続き、ゴルフツーリズム促進へつなげるプロモーションを戦略的に展開して参ります。

調査レポートおよび共同記者会見の様子は[こちら](#)からご覧ください。

海外向けのプロモーションについて

賛助会員の皆様と連携し海外からの訪沖プロモーション強化に取り組みます。今回は欧米豪市場に関するプロモーションについてお伝えします。

新規市場 米国

（報告）Okinawa Global Ambassador Awich NYライブでの沖縄観光プロモーション



日程：令和7年9月14日(日)

場所：ニューヨーク・セントラルパーク

OCVBは、Okinawa Global Ambassador（沖縄グローバルアンバサダー）に就任いただいている沖縄出身アーティスト Awich氏が開催したライブを活用し沖縄観光プロモーションを実施しました。会場では観光動画の上映及びアンケートを行い、沖縄の魅力を来場者に発信しました。ライブの翌日には、NYの観光関連事業者等を訪問し、米国市場における沖縄観光の可能性について意見交換を実施しました。また、併せて開催された県内事業者並びに在NYのバイヤーや県人会関係者が参加し実施された商談会「Okinawa Fair」では活発なコミュニケーションとネットワークの強さが感じられました。

イベント実施アンケートより（アンケート回答者数127名）

- 沖縄の認知度は90%、来沖希望度は97%
 - 来沖経験者は41%：内25%が家族や友達に会いに行くため。国際会議参加のための来沖もあった（4名）
 - 沖縄で興味のある体験：1位 文化・歴史（33%） 2位 美しい海（21%） 3位 食事（18%）
- 中には、Awich氏の出身地である沖縄に行ってみたいという声も

アメリカからの沖縄県入域観光客数はコロナ前と比較し150%の回復率（2025年9月時点）と欧米市場で最も高くなっています。飛行時間10時間～14時間の長距離路線にもかかわらず、上記アンケート結果からも、さらなる訪沖需要が見込めることがわかります。今回のプロモーションで得た情報等を今後につなげてまいります。

新規市場 欧米豪、ドイツ市場

（案内）令和7年度「マーケット研究会（欧米豪／ドイツ市場）」開催

OCVBでは、観光庁・JNTOとの共催にて令和7年度マーケット研究会（欧米豪／ドイツ市場）を開催いたします。誘客プロモーションや受入体制整備の参考として、ぜひご参加ください。

日程：令和7年10月16日(水) 第一部15:00～15:50 第二部16:00～17:50

場所：オンライン（MS Teams）

内容：【第一部】15:00～15:50

I. OCVB欧米豪市場説明会

- ・ 欧米豪市場の沖縄観光概要
- ・ 過去の取り組みと今年度について

【第二部】16:00～17:50

II. JNTOマーケット研究会（講演） 16:00～16:50（質疑応答含む）

- ・ テーマ：「ドイツ市場の最新動向～ドイツ人にとっての沖縄とアドベンチャートラベル～」

・ 講演： 日本政府観光局（JNTO）フランクフルト事務所 所長 臼井 さやか

III. 個別相談会（フランクフルト事務所 所長 臼井 さやか）16:55～17:50

16時55分～17時10分 相談会1（15分間）

17時15分～17時30分 相談会2（15分間）

17時35分～17時50分 相談会3（15分間）

※ 1事業者1枠 ※ 事前申し込み制（先着順により、上記3枠が埋まり次第締め切ります。）

申込： <https://forms.office.com/r/cenJZGHnvU>

締切：令和7年10月10日（金）17:00まで

お申し込みは
こちら▼



MICE推進課の取り組みについて

●【開催報告】令和7年度沖縄MICEセミナー&商談会in大阪・東京

沖縄県およびOCVBは沖縄へのMICE送客を行う旅行会社およびPCO等を対象に「沖縄MICEセミナー&商談会in大阪・東京」を開催いたしました。

日程：《大阪》令和7年9月9日（火）梅田センタービル 《東京》令和7年9月11日（木）ベルサール秋葉原
内容：13:00-13:50 沖縄MICEセミナー（OCVB、出展セラーによるプレゼンテーション）

14:00-16:30 商談会（事前マッチング）

16:30-17:30 ネットワーキング交流会（沖縄MICE支援メニュー体験、沖縄観光大使の三線演奏、抽選会）

▼今年度は事前マッチングシステムを初導入。セラー、バイヤーは互いのプロフィールを参照しながらメッセージ機能を活用して自らマッチングリクエストを行いました。効率的な商談機会を創出でき、「商談の質が向上した」と好評でした。

▼両会場の商談件数は前年度を上回り、参加バイヤーからは、「多数の沖縄の事業者と実際に顔を合わせ商談できる有意義な時間であった」とのコメントを多くいただきました。

▼セラー、バイヤーの交流を促す交流会では、沖縄観光大使（伝統芸能部門：與那國大介さん）による三線演奏や泡盛試飲ブースを提供し、参加者から「商談できなかった相手と交流できた」とのコメントがありました。

▼東京会場では、**沖縄MICEネットワーク・MICE産業部会（誘致チーム）**が「チーム沖縄」として初参加。

『沖縄MICEのことなんでもご相談ください』とキャッチフレーズを掲げ、沖縄MICEに関するよろず相談所の役割を果たし、多くの来場者が長時間滞在する大盛況のブースとなりました。

ご出展いただいた沖縄MICEサプライヤーの皆様、誠にありがとうございました。

MICEセールス活動に参加ご希望の際は、ぜひ次の機会（沖縄MICEプロジェクト2月予定）をご検討ください。



	大阪	東京
出展セラー数	45社	45社
参加バイヤー数	90名	135名
商談件数	286件	372件 (OMN：11件)

お問い合わせ先：折原、比嘉、奥平、池原、加治工
TEL：098-859-6130 E-mail：mice@ocvb.or.jp

●沖縄MICEネットワークのご案内

産・学・官の連携により新規ビジネスの発掘。多様な業界、業種の200以上の企業・団体が加盟



充実した会員向けサービスを活用して会員間の交流促進によりネットワークを深め、事業の拡大や新規コンテンツの開発などに役立てることができます。ウェブサイトでご利用頂ける会員限定コンテンツとして、

- ①「会員紹介」での企業PR(企業概要や取扱サービス、アピールポイントなどを掲載)
- ②「トピックス」で情報発信(新製品・サービス情報などを掲載、会員向けメールニュースでも配信)
- ③「会員間メール送信機能」

があり、さらに「MICE産業部会」「サステナビリティ部会」「展示会等誘致開催検討会」などの部会活動を通じて、MICE施策に声を反映させることができます。また勉強会やセミナー、名刺交換会、会員間の交流を深めビジネスの連携促進につながるマッチング交流会、MICEに係る展示会や商談会への出展により、MICE誘致活動を行います。

興味をお持ちの方はこちらからどうぞ！→



お問い合わせ先：小野・神谷・酒井
TEL：098-851-3765
E-mail：info@okinawamicenetwork.jp

●収益力向上・省人化に関するAI活用等の最新事例を学ぶ！（オンライン配信あり）

【海外ビジネスマッチング支援事業】沖縄県大阪事務所共催

観光事業者 収益力向上サポート 事業セミナー

2025 10.31(金) 14:20~17:00
会場はオンライン
沖縄県立図書館3階ホール

主プログラム(予定)

事業説明
「令和6年度～7年度観光事業者
収益力向上サポート事業」について
一般財団法人沖縄ITイノベーション
戦略センター(事務局)

基調講演
「観光事業者の収益力向上に向けた
AI活用事例」
松本吉加子氏

パネルディスカッション
「観光事業者の収益力向上に向けた
AI活用事例」
松本吉加子氏

質疑応答
「観光事業者の収益力向上に向けた
AI活用事例」
松本吉加子氏

お楽しみ会
今後の事業の
方向性について
事務局連絡

お問い合わせ先・申込み
■詳細WEBサイト: <https://www.ocvb.or.jp/topics/4664>
■問合せ(セミナー事務局): kansup_info@isc-okinawa.org
■参加申込: <https://logoform.jp/1/UNTq>
上記を参照し、フォームから、会場・オンライン参加のどちらかを選択。
※会場参加の場合は、15時30分まで受付。入場券は当日配布。
※オンライン参加の場合は、事前登録より10分前までに申し込みを完了してください。
【主催】沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課【共催】沖縄県大阪事務所
【事務局】一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー有限責任監理法人トマツ

一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センターと一般財団法人沖縄観光コンベンションビューローが連携し設立した「観光事業者収益力向上サポートコンソーシアム」では、沖縄県受託事業の一環として「観光事業者収益力向上サポート事業セミナー」を実施します。

収益力向上や省人化に向け、AIを活用した情報発信やマーケティング、業務効率化などの具体事例をご紹介します。最新のトレンドから、明日業務に使えるテクニックまで、幅広く観光事業者の皆様にご活用いただける内容となっていますので、ぜひご参加ください！

■実施概要

主 催：沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課
共 催：沖縄県大阪事務所
開催日時：令和7年10月31日（金）14:20～17:00
場 所：沖縄県立図書館3階ホール
※オンライン配信での受講も可能です

受講料：無料

詳細や申込については、[こちら](#)よりご確認ください。

「観光事業者収益力向上サポート事業セミナー」を開催します

お問い合わせ先：
国内事業部 受入推進課（セミナー事務局）
TEL：098-859-6129 ①: kansup_info@isc-okinawa.org

観光の仕事 魅力発信動画を制作・公開しました

●観光業を選ばれる産業へ！学生・求職者に向けて観光の仕事の魅力を動画で発信します

OCVB観光人材育成センターでは、沖縄県より「令和7年度観光人材育成・確保促進事業」を受託しており、観光業のイメージ向上や、観光業を目指す学生/求職者を増やすことを目的に、観光の仕事の魅力を発信する動画を作りました。就職活動関連イベント等での学生への業界説明、キャリア教育などでぜひご活用ください。

■公開動画一覧

【観光の仕事】魅力発信動画 15秒バージョン

【観光の仕事】魅力発信動画 30秒バージョン

【観光の仕事】魅力発信動画 60秒バージョン

※クリックするとYouTubeにて再生できます。

※本動画はご自由にご視聴・共有いただけます。

ただし、無断でのダウンロードや再編集、素材としての利用はご遠慮ください。

■動画の放映について

OCVB観光人材育成センターが運営する「育人（はぐんちゅ）」サイトのほか、各種SNS等での放映を予定しております。

このほか、学内デジタルサイネージ広告での放映を行う予定です。

- ・琉球大学（中央食堂、北食堂、共通教育棟1号館1階、学生寮共用棟、キャリア教育センター前）
- ・沖縄大学（本館地下1階多目的学習室、本館1階ホワイエ・沖大ホール、1号館1階生協前）



お問い合わせ先：
国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター
TEL：098-859-6129 ①: ikusei@ocvb.or.jp

●「採用」と「定着」の両輪を強化し、人手不足時代に選ばれる職場を目指す！

OCVB観光人材育成センターでは、沖縄県より「令和7年度観光人材育成・確保促進事業」を受託しており、観光関連企業の経営者や人事担当者の皆様を対象に、人材を確保し定着させる取り組みの根幹となる「人を大切にする」を体現する企業の事例共有に加え、その実現に向けた具体的な人材採用・定着の手法について紹介する「観光人材戦略セミナー」を実施します。オンラインでの受講も可能ですので、人手不足や人材定着に悩む企業の皆様のご参加をお待ちしております。

■実施概要

開催日時：令和7年11月14日(金)13時～17時

対象：沖縄県内観光関連事業者（経営者、管理職、人事担当者向け）

会場：浦添市産業振興センター結の街 大研修室

実施方法：ハイブリット形式（会場+オンライン）

お申し込みは
こちら▼



どの会社にもある“人材の悩み”

✓ 求人を出しても
応募がこない



✓ 採用しても
人材がなかなか
定着しない



✓ 慢性的な人材不足
で既存社員が疲弊
している



今の人手不足の原因は“人材定着”の取り組みが
足りていないかもしれません

人材確保にお悩みのあなたこそセミナーの受講をオススメします！



事例紹介

「ひとを大切にする組織とは？」

吉江 潤 氏 ハレクラニ沖縄 初代総支配人

第1部



「人材採用力を
最大化する方法」

久保 亮吾 氏
株式会社リクラブ 代表取締役

第2部



「人材が定着する
組織づくり」

波上 こずみ 氏
株式会社Cosmic Consulting
代表取締役

第2部

お問い合わせ先：
国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター
TEL：098-859-6129 ①：ikusei@ocvb.or.jp

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

OKINAWA
TOURISM
OCVB x SDGs



「**おきなわSDGsプラチナパートナー**」**認証団体**であるOCVBでは、SDGs認証制度5つの取組を中心に、地域と連携した持続可能な観光づくりに取り組んでいます。

▶詳しくは下記2次元コードまたは[OCVB公式サイト](https://ocvb.or.jp)をご覧ください。



OCVBの日々の事業活動において、SDGsに資する取組はOCVB公式サイト内の「[活動報告](#)」に多数掲載。その一部を以下に紹介。

SDGs認証制度5つの取組の一つ

🌊 プセナ海中公園周辺における海洋資源保全

7/20
(日)



「プセナ海中公園&ザ・プセナテラス共同企画“タマンの稚魚放流イベント”」を開催！約2,000匹のタマンの稚魚を放流しました。詳しくは[こちら](#)

OCVB東京事務所

🌐 バリアフリー化に向けた取り組み



どなたでも安心して気軽に訪れていただける観光案内所を目指し、この度、案内所のバリアフリー化に向けて様々な取り組みを開始！詳しくは[P24参照](#)

5つの取組以外にも

ワーケーション推進事業への取り組み

沖縄リゾートワーケーションの推進を通して、旅行者滞在日数の延伸、観光消費額の向上を図ります。

また、観光産業・地域・教育関連振興の視点で、質の高い観光地の形成を図ります。

●【開催報告】iWT第3回国際ウェルネスツーリズムEXPO

沖縄リゾートワーケーション推進協議会では本県におけるワーケーション関連情報を発信し更なる誘致促進を目的に、iWT第3回国際ウェルネスツーリズムEXPOに出展いたしました。

・ブース来訪者からは、沖縄へのビジネス進出計画の相談を受けることが多く、強い積極性を感じました。一方、アンケート回答からは、企業におけるワーケーション導入の低さが目立ち、依然として、制度整備・費用負担・労務管理などが課題となっています。また、ワーケーション実施場所として沖縄を選択する理由としては、「ビーチリゾート」「リラックス」といった観光との親和性が高く評価されました。



・今年度予定している商談会等↓

【iWT】令和7年6月25日（水）～27日（金）東京ビッグサイト **終**

【TEJ】令和7年9月25日（木）～28日（日）Aichi Sky Expo **終**

【ColiveFukuoka】令和7年10月1日（水）～3日（金）福岡住吉神社

【CEATEC】令和7年10月14日（火）～17日（金）幕張メッセ

【ResorTech】令和7年11月13日（木）～14日（金）沖縄サントリーアリーナ

【ANTB】令和8年2月5日（木）～6日（金）琉球新報ホール

■ ワーケーションで沖縄を選んだ理由について

目的と同様に「観光地として人気の沖縄を楽しむため」が最も多かった。一方で、「会社の指定」や「出張の延長」「現地での業務がある」など、業務上の事情による選択も多く見られた。そのほか、「マラソン大会への参加」や「沖縄に知人が多くいる」といった私的な理由に基づく回答もあった。

Q9. 沖縄を選択した理由は？



- ビーチリゾートが好きだから
- 会社として沖縄を指定
- 出張のついでだから
- 同行する家族が喜ぶから
- 仕事できる環境が整っているから
- 沖縄現地での業務があるから
- 航空便が多くアクセスに便利だから
- 会社の補助があるから
- その他

●令和7年度 災害時観光客帰宅困難対応および帰宅支援対策運用訓練を実施します！

OCVBは、沖縄県より観光危機管理体制構築支援事業を受託しており、災害・危機発生時における観光客の早期帰宅を実現すべく、観光危機管理に関する図上訓練を実施しています。

今回は新たな取り組みとして体感型の内容を取り入れます。

多くの観光客が訪れる本県では、大災害発生時に住民のみならず旅行で訪れている多くの観光客も被災することとなります。そのため、観光客の安全・安心の確保および観光産業を守るため観光業界一丸となった不断の対応が求められます。

今年度は新たな取り組みとして「旅行者の立場を疑似体験する体感型の内容」を取り入れた訓練を実施いたします。

第1部では、観光客の立場での体感型訓練を実施します。発災時に体感する「焦り」「不安」「混乱」を体験し、旅行者の立場で自身の身の安全確保を目指します。

第2部では、災害発生時に起こりうる様々な事象を再現映像を通して疑似体験し、第1部での体験をもとに、初動対応や帰宅支援にかかる対応の検討やシミュレーションを行い、取組課題を洗い出していきます。

観光客の視点と自組織としての視点、2つの視点を基に構成する訓練に、ぜひご参加ください。

【訓練概要】

日 時：令和7年11月11日(火) 10:00~16:00 (受付9:30~)

場 所：沖縄空手会館(豊見城市字豊見城854-1)

対 象：行政機関(国・県・市町村)、地域観光協会、観光関連団体・事業者等

申込期限：令和7年10月20日(月)

★詳細は[こちら](#)からご確認ください



お申込は
コチラから



お問い合わせ先：総務企画課 危機管理チーム 担当：嘉陽、天久、池原
TEL：098-859-6126 E-mail：kikikanri@ocvb.or.jp

(OCVB危機管理チーム運営サイト)
沖縄観光危機管理 - 安全・安心な観光地へ！
<https://tcm.ocvb.or.jp/>



OCVB 賛助会員のみなさまへ

総務企画部
総務企画課

●賛助会員交流会 12月4日(木)開催決定！

OCVB賛助会員の皆様へ日頃のご協力に感謝の意を表し今年も交流会を開催いたします。会員間およびOCVB職員との交流を深める機会となりましたら幸いです。プログラム詳細、お申込み方法は今後改めて発表いたします。

期日：令和7年12月4日(木) 15:00~18:45 (時間帯は変更する可能性があります)

場所：ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城

プログラム(予定)： 第一部 セミナー
第二部 交流会

お問い合わせ先：
総務企画部 賛助会員事務局
TEL：098-859-6126 MAIL：sanjo@ocvb.or.jp

どうぞお楽しみに！



OCVB 賛助会員のみなさまへ

● 賛助会員交流掲示板(Teams) お早目のご登録をお願いいたします！

OCVBでは現在、新たなサービスとして賛助会交流掲示板システム（Teams）仮運用をスタートし、Teamsを活用することで、従来の情報発信方法では叶わなかった、賛助会員の皆様からの情報発信、会員同士のマッチングが可能となりました。これまで専用ページでIDやパスワードを入力しないと確認できなかった「OCVBNews」についても、ID・パスワードの入力することなく、ワンクリックで閲覧することが可能となりましたので、ぜひご登録ください！

※2026年1月～本格運用開始予定

賛助会員メールマガジンは配信停止となり、すべて掲示板に移行予定です。

<交流掲示板(Teams)登録方法>



■ 利用規約 (登録前に必ずお読みください)

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb23120502.pdf>

■ 登録マニュアル

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb23120503.pdf>



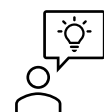
＼ 賛助会員サービス ＼



交流掲示板を使ったOCVB・賛助会員様からの相互情報発信



事業説明会・交流会、「新春の集い」への参加



コーポレートサイト等でのPRする場の提供



ご協力の程、
よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先：
総務企画部 賛助会員事務局
TEL：098-859-6126 MAIL：sanjo@ocvb.or.jp

●東京事務所をプロモーションで活用してみませんか？

当事務所観光案内スペースを活用して、首都圏在住の一般のお客様に向けた観光PRを行うことが可能です。

『おきなわ旅セミナー』一般向けセミナー

地域の魅力を直接伝えることができます。(無料)

【対象】一般(定員8名ほど)

【時間】1時間程度

【内容】①基本情報②観光情報③モデルコース等

X

『観光PRコーナー』観光案内プロモーション

みなさまの地域PRにご活用いただけます(無料)

【期間】2週間～1ヶ月程度(目安)

【内容】①動画放映②パネル展示③内容にあった装飾等



リアル・オンライン(Teams)
どちらも対応可能！



イベントやコンテンツにあわせて展示を行います。

パンフレットも配架できます。

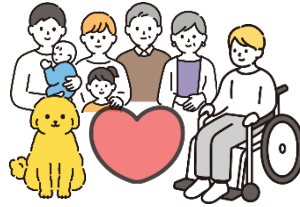
2024～2025年実績

- 糸満市観光協会 ●うるま市役所、うるま市観光物産協会 ●今帰仁村観光協会 ●読谷村観光協会
- 伊江島観光協会 ●金武町観光協会 ●沖縄市観光物産振興協会など(順不同)

●東京事務所バリアフリー化へ向けた取り組みが始まりました！

当事務所では、障がいの有無、人種等に関わらず全ての人たちを受け入れるユニバーサルデザインを目指し、東京都の実施する「スマートインクルーシブシティ実現プロジェクト」の実証事業に協力しています。

※「[スマートインクルーシブシティ実現プロジェクト](#)」とは障がいのある方や配慮を必要とする方の外出を、デジタルサービスを活用して支援する取り組みとなります。(参照：デジタルサービス推進部デジタルサービス推進課)



車椅子が通過できる
スペースの確保
(レイアウト変更)



筆談パットの準備(掲示)
バリアフリー情報誌
指差し会話シートの設置



【OCVB東京事務所の公式Webページ&SNS】

首都圏の沖縄イベントほかお役立ち情報発信中！
いいね！・フォローお願いします♪



Webページ



X



Facebook



●県内在住者限定割引でブセナ海中公園を満喫!!

ブセナ海中公園は部瀬名岬内にあり、希少なサンゴや色鮮やかな魚が豊富に生息しているため、沖縄海岸国定公園の海域公園地区に指定されています。

沖縄本島で唯一の海中展望塔は、岬から約170m先の沖合にあり、展望塔にかかる栈橋では、海の上を歩いている気分を楽しめます。海中展望塔内の螺旋階段を下りると、水深4～5mの海の世界を24面のガラスの窓から覗くことができます。日によって現れる魚が異なるので、自然の海を観察できるのがポイントです。

クジラ型のグラスボートは、船底がガラス張りになっており、覗き込むようにして海中の世界を体験することができます。サンゴ礁や魚の見えるポイントで、ガイドの説明を聞きながら海中散策を楽しめます。

県内在住者割引を実施しておりますので、ご家族やご友人と一緒にブセナ海中公園をぜひご利用ください。



海中展望塔・グラスボート利用料金表

		通常料金	県内在住者 限定料金
海中展望塔	大人	1,050円	840円
	小人	530円	420円
グラスボート	大人	1,560円	1,250円
	小人	780円	620円
セット (海中展望塔・グラスボート)	大人	2,100円	1,700円
	小人	1,050円	840円

※県内在住を証明できる身分証をチケット購入時にご提示ください。

●令和7年度のブセナ海中公園でのサンゴ植付の取り組み進捗について

ブセナ海中公園では、観光産業にとって重要な観光資源の1つであるサンゴ礁の再生・保全を目的に、サンゴの植付に取り組んでいます。令和4年度からアラムコ・アジア・ジャパン株式会社による沖縄県サンゴ礁保全推進協議会からの助成支援を受け、ザ・テラスホテルズ株式会社と共同でサンゴ植付を実施しており、今年度の取組進捗をご紹介します。

ブセナ海中公園でのサンゴ植付の取組

1

簡易設置型の着床具を利用した シコロサンゴの生存



令和7年3月3日に合計19群体のシコロサンゴを植付しました。植付から3か月後の令和7年7月10日にモニタリングを行い、合計17群体のサンゴの生存を確認できました。生存率は89%でした。

2

海草とサンゴの共生関係を 利用したメッシュポットでの エダコモンサンゴの生存



令和6年12月23日に合計30群体のエダコモンサンゴを植付しました。植付から3ヶ月後の令和7年3月31日にモニタリングを行い、合計29群体のサンゴの生存を確認できました。生存率は96%でした。

◆シコロサンゴ・・・厚い葉状片が板を組合せたように垂直に生育するため、大波などに強い。夏場の高温に最も強い種の1つとされている。

◆エダコモンサンゴ・・・枝が垂直に伸びる傾向が強く、砂などをかぶりにくい。ブセナ海中公園に生息しているサンゴであり、高い生存率が期待できる。



さらに植付から6か月後の令和7年7月10日にエダコモンサンゴのモニタリングを行い、合計21群体のサンゴの生存を確認できました。生存率は70%でした。今年度はいまだ台風の接近が少なく高温が続くため、サンゴの白化が心配です。

	事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1	経営者向け 令和7年度 専門家派遣	経営に関する課題解決のため、専門家派遣を実施する。 【支援例】 ・SNSやマーケティングなどの広報活動や財務面に関する相談 【対象要件】 下記に該当する沖縄県内の観光関連事業者 ・観光関連の事業者であること、また観光に関連した業務に携わっている事 ・沖縄県に事業所を有している事 ・専門家派遣により、支援の効果が期待できる状況であると判断されるもの ・経営向上を目指す意欲があり経営者が積極的に取り組むこと 【申請期間】 令和7年4月～令和7年12月末 ※予算上限に達し次第〆切 【派遣回数】 4回程度 【派遣料】 無料	観光業界	https://okinawa-hagunchu.jp/news/1881/	文化観光スポーツ部 観光振興課 TEL 098-866-2764
2	令和7年度 MICE受入体制強化等事業 専門アドバイザー派遣	多様化したMICEのニーズに対応するため、専門アドバイザーを派遣し、MICE関連事業者が抱える課題解決をサポートする。 【課題例】 ・商品やサービスを主催者や旅行会社にPRする方法 ・既存コンテンツをMICE向けにするにはどうしたらよいか ・MICE受入時の対応方法について 【対象期間】 令和7年4月～令和8年2月末 ※予算上限に達し次第〆切 【対象者】 沖縄県内の事業者 【派遣回数】 4回程度 【派遣料】 無料	全事業者	https://mice.okinawastory.jp/information/post-46275/	文化観光スポーツ部 MICE推進課 TEL098-866-2077
3	令和7年度 奨学金返還支援事業	県内中小企業の人材確保・定着を支援するため、企業が従業員に対して行う奨学金返還支援に対し、企業が負担する経費の一部を補助する。 【対象企業】 ・沖縄県内に本社のある中小企業 ・従業員に対する奨学金返還支援制度を有していること ※その他条件についてはHP参照 【対象期間】 令和7年4月～令和8年3月 【申請期間】 令和7年4月～令和8年2月28日 (申請日の属する月以降に行った給付が補助対象)	全事業者 ※沖縄県内に本社のある中小企業	https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/keizai/1009879/1010143/1010156.html	商工労働部 労働政策課 TEL 098-866-2366
4	沖縄県プロフェッショナル人材確保支援補助金	新規事業の立ち上げ、販路開拓、生産性向上、経営管理など自社の経営課題解決に必要な人材のマッチング支援を行う。プロフェッショナル人材を雇用する場合や副業・兼業で活用する場合において、人材紹介手数料等の一部を補助する。 【対象期間】 令和7年4月23日～令和8年2月28日 【申請期間】 令和7年4月23日～令和8年2月14日 ※予算上限に達し次第〆切 【補助限度額】 50万円 【補助条件】 ・沖縄県内に事業所を有すること ・プロ人材を県内の事業所において雇用し、又は副業・兼業人材として従事させること ・沖縄県プロフェッショナル人材戦略拠点（（公財）沖縄県産業振興公社内）に企業情報の受付がなされていること 等	全事業者	https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/keizai/1009879/1009880/1010152.html	

	事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
5	令和7年度 外国人材受入支援 事業	外国人材を受け入れたい企業を対象に、①相談窓口の設置、②セミナー、③マッチングイベントを実施する。 【①相談窓口】 外国人雇用に関する悩み、企業の課題整理、解決策のアドバイス、また、必要に応じて行政書士等の専門家を派遣し、対面相談による複数回の伴走支援、企業の魅力発信を目的としたインターンシッププログラムの作成支援等を実施。 【②セミナーの開催】 在留資格の制度概要、外国人材採用のポイントや流れ等について、企業、外国人留学生、県内の外国人労働者向けにセミナーを実施。 【③マッチングイベント】 県内の大学・専門学校・日本語学校等の留学生が県内企業とマッチングできるよう、合同企業説明会（マッチングイベント）を開催。	全事業者	https://www.yuiyui-gaikokujinza.com/	
6	令和7年度 沖縄県所得向上応援企業支援事業	企業の稼ぐ力の向上を図るとともに、稼いだ企業所得を従業員に適切に分配し、給与向上や正規雇用化に取り組む企業を認証する制度。 【対象条件】 沖縄県内での事業実績が1年以上ある法人又は個人事業者 【認証基準】 ①給与支給総額の伸び率 ②給与平均額 ③時給増加額 ④財務情報の開示 ⑤正規雇用、男女雇用比率の開示 【インセンティブ】 ①認証企業の広報PR（うまんちゅ広場やHP、認証式等） ②奨学金返還支援事業の補助額拡充 ③補助事業採択審査及び業務委託企画選定審査における加点 ④公庫金利優遇 ⑤認証企業が集まる交流会への参加 等 【申請期間】 通年 【認証実績】 124社	全事業者	https://www.shotokukojo.okinawa/	商工労働部 雇用政策課 Tel. 098-866-2324
7	令和7年度 UIターン 就職・転職活動 交通費支援事業 （ちゅらっとター ン交通費補助金）	県外在住者の県内就職を促進するため、県内での就職・転職活動に係る交通費の一部を補助する。 ※対象は個人だが、企業から求職者への案内は可 【対象者】 45歳未満の県外在住者 【対象活動】 ①県主催合同企業説明会 ②インターンシップ ③採用面接 ④就職のための移転 【対象経費】 1.交通費 2.宿泊費 【補助額】 対象経費×1/2 （上限5万円/回、年度内3回まで申請可） 【申請方法】 沖縄県電子申請サービスにて申請 【申請期間】 活動の翌月10日までに申請 （令和8年3月のみ、3月31日までに申請） ※UIターン就職相談マッチングサイト「りっか沖縄」への登録必須	公務員を除くすべての業種	https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/koyorodo/1012003/1034380.html	

	事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
8	令和7年度 プロフェッショナル 人材戦略拠点運営事 業	沖縄県プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業（愛称：人材チャンプルー）では、企業から課題をお聞きし、各支援機関と連携しながら“その課題を解決するプロ人材を紹介”。企業の人材についてなんでも相談できる公的相談窓口。 ・支援対象：県内事業者 ・支援期間：2025年4月1日～2026年3月31日 ・相談料：無料 ・相談内容(例)：業務効率化、ブランディング、DX化、経理処理などの課題解決に向けた、フルタイム及び副業、兼業人材のマッチング	全事業者	https://okinawa-ric.jp/service/professional.html	沖縄県産業振興公社 事業支援課 TEL:098-859-6236
9	令和7年度 プッシュ型相談支援 事業	日々の業務が忙しくて支援機関に相談する時間がない県内小規模事業者等に対して、経営の専門家が直接訪問し、経営相談を実施する。 ・支援対象者：県内小規模事業者※ ・支援期間：2025年6月2日～2026年1月30日 ・相談料：無料 ・相談内容(例)：資金繰り、人員確保、販路拡大、新商品開発など ※支援対象となる小規模事業者 常時雇用する従業員数が以下の者。 ①製造業、建設業、運輸業、サービス業（宿泊・娯楽業に限る）、その他の業種（②を除く）：20人以下 ②卸売業、小売業、サービス業（宿泊・娯楽業を除く）：5人以下	全事業者	https://okinawa-ric.jp/service/post-53.html	沖縄県産業振興公社 事業支援課 TEL:098-859-6236

	事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1	省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金 省エネルギー投資促進支援事業費補助金	省エネルギーの推進を目的に、国内で事業を営む法人と個人事業主の省エネルギー対策を支援する。 【概要】 先進的な省エネ設備や、工場・事業場に合わせた特注品、汎用的な省エネ設備、電化や脱炭素目的の燃転を伴う設備等の更新費用の一部を支援する。また、さまざまな業種で横断的に使われる汎用的な15設備の更新に対応する補助金。 【補助率】最大2/3 【限度額】最大15億円（単年度事業） ■三次公募 ・公募期間：令和7年10月31日まで（単年度事業） ・交付決定：令和7年11月中旬（予定）	全事業者	https://syouenehojyokin.sii.or.jp	SII省エネ補助金説明会事務局 Tel 03-3266-5781
2	人材確保等支援助成金（外国人労働者就労環境整備助成コース）	外国人労働者は、雇用慣行の違いなどからトラブルが生じやすい傾向にあるため、外国人特有の事情に配慮した就労環境の整備を行い、外国人労働者の職場定着に取り組む事業主に対して助成する。 【対象となる就労環境の整備措置】 雇用労務責任者の選任等、2つの必須となる措置を実施した上で、選択できる措置を1つ以上実施すること 【申請期間】 ・措置を実施後6か月の離職率算定期間を経て2か月以内 【支給額】 1つの措置を導入ごとに20万円（上限80万円） 【対象労働者】 雇用保険被保険者となる外国人労働者（特別永住者および在留資格「外交」、「公用」を除く。）	外国人を雇用する全ての企業	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kouyou_roudou/kouyou_kyufukin/gaikokujin.html	沖縄労働局 沖縄助成金センター TEL:098-868-1606
3	産業雇用安定助成金（スキルアップ支援コース）	在籍型出向により労働者のスキルアップを行うとともに、当該出向から復帰した際又は出向開始1年後等の賃金を出向前と比して5%以上増加させた事業主（出向元）に対し、出向中の賃金の一部を助成する。 【対象となる事業主】 資本的、経済的、組織的関連性等からみて、出向先事業主との独立性が認められる事業所に対象労働者を出向により送り出す事業主 【支給対象期間】 対象労働者の出向開始日から起算して1年が経過する日までの期間 【支給額】 対象労働者の賃金に対して出向元事業主が負担した額と出向前の通常賃金の2分の1の額のいずれか低い額に中小企業事業主は3分の2（大企業事業主は2分の1）を乗じて求めた額 【申請期間】 賃金上昇確認期間の最後の賃金支払日の翌日から起算して2か月以内	全事業所	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000082805_00012.html	沖縄労働局 助成金センター分室 TEL:098-868-4013

	事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1	在籍型出向マッチング支援	産業雇用安定センター（ジョブ産雇）は1987年（昭和62年）に国および経済・産業団体の協力によって設立された公益財団法人。主な事業として、人材を送り出す企業と人材を受け入れる企業との間に立って、情報提供・相談等を行い、在籍型出向の成立に結びつける「人材の橋渡し」の業務を無料で実施。 【対象条件】 ①雇用を維持するための在籍型出向 ②人材育成や企業間交流を目的とした出向 ③人材を確保したい企業からの求人受付 ④雇用調整により離職する従業員の再就職支援 【費用】無料	雇用保険に加入している事業所	https://www.sangyokoyo.or.jp/	公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇） 沖縄事務所 TEL:098-860-0750

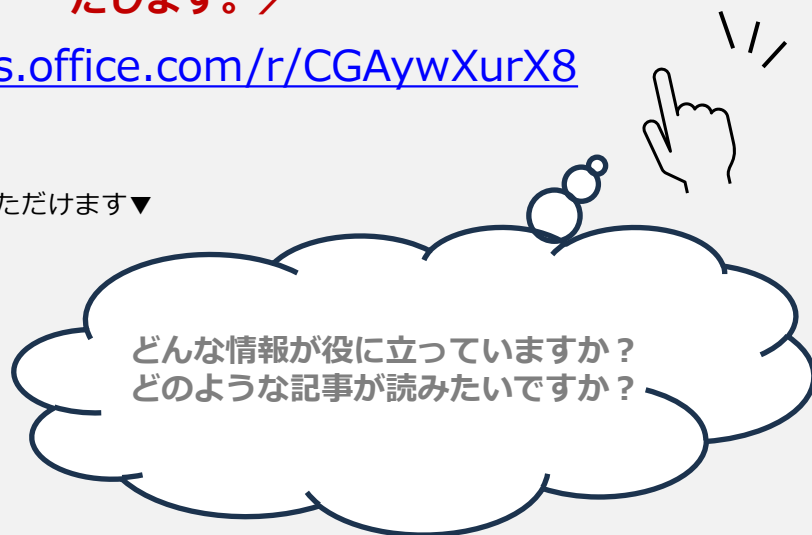
読者アンケート調査

最後までお読みいただき、ありがとうございます。OCVBではこれからも事業者の皆さまの役に立つ情報を発信し続けてまいります。ぜひ、皆さまのお声をお聞かせくださいませ。

＼より良いOCVB newsを作っていくため、読者アンケートにご協力をお願いいたします。／

<https://forms.office.com/r/CGAywXurX8>

▼こちらのQRコードからも回答いただけます▼



【読者アンケート調査】
※ご注意ください※本フォームへのご質問には回答できかねます。

賛助会員様（公開可会員様総数：600）（順不同・敬称略）2025年10月2日現在

日頃から沖縄の観光振興に格別なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

◇市町村(会員様数:40)

粟国村
伊江村
石垣市
伊是名村
糸満市
伊平屋村
浦添市
うるま市
沖縄市
恩納村
嘉手納町
北大東村
北中城村
宜野座村
宜野湾市
金武町
国頭村
久米島町
座間味村
竹富町
北谷町
渡嘉敷村
中城村
今帰仁村
那覇市
西原町
南大東村
与那原町
読谷村
八重瀬町
豊見城市
名護市
南城市
本部町
多良間村
東村
渡名喜村
与那国町
南風原町
大宜味村

◇観光協会等(会員様数:36)

一般社団法人石垣市観光交流協会
一般社団法人糸満市観光協会
一般社団法人浦添市観光協会
一般社団法人うるま市観光物産協会
NPO法人おおぎまると観光協会
一般社団法人沖縄市観光物産振興協会
一般社団法人久米島町観光協会
一般社団法人北谷町観光協会
一般社団法人豊見城市観光協会
公益財団法人名護市観光協会
NPO法人東村観光推進協議会
一般社団法人南大東村観光協会
与那国町観光協会
一般社団法人ヨロノ島観光協会
一般社団法人恩納村観光協会
一般社団法人座間味村観光協会
一般社団法人南風原町観光協会
一般社団法人宜野座村観光協会
一般社団法人今帰仁村観光協会
一般社団法人那覇市観光協会
一般社団法人宮古島観光協会
一般社団法人本部町観光協会
一般社団法人読谷村観光協会
一般社団法人南城市観光協会
一般社団法人金武町観光協会

一般社団法人いげな島観光協会
一般社団法人八重山ビクターズビューロー
一般社団法人北中城村観光協会
一般社団法人宜野湾市観光振興協会
一般社団法人粟国村観光協会
一般社団法人伊江島観光協会
一般社団法人中城村観光協会
一般社団法人多良間村ふしやめ観光協会
一般社団法人大宜味村観光協会
嘉手納町観光協会
一般社団法人伊平屋島観光協会

◇各種団体(会員様数:38)

沖縄県商工会連合会
那覇商工会議所
沖縄県飲食業生活衛生同業組合
宜野湾市商工会
一般社団法人沖縄県造園建設業協会
JA沖縄中央会
沖縄県舞台運営事業協同組合
一般財団法人沖縄美ら島財団
公益社団法人日本青年会議所沖縄地区協議会
西日本高速道路株式会社・九州支社・沖縄高速道路事務所
一般社団法人沖縄県レンタカー協会
一般社団法人全国個人タクシー協会 沖縄支部
OTSパートナーズネットワーク
JTBレキオス
日本旅行沖縄赤い風船会
阪急交通社国内旅行推進協力会 沖縄支部
沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合
KNT-CT/パートナーズ会沖縄連合会
JTB協定旅館ホテル連盟 沖縄支部連合会
農協観光協定旅館ホテル連盟・協力みのり会 沖縄県支部
一般社団法人沖縄県サッカー協会
一般社団法人沖縄県ホテル協会
沖縄県酒造協同組合
公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会
一般社団法人日本旅行業協会 沖縄支部
名鉄観光協定旅館ホテル連盟 沖縄支部会
一般社団法人美ら島観光施設協会
一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会
一般社団法人全国旅行業協会 沖縄県支部
一般財団法人沖縄マリンレジャーセーフティビューロー
一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター
沖縄県酒造組合
一般社団法人沖縄県バス協会
日本旅行協定旅館ホテル連盟 沖縄支部連合会
一般社団法人沖縄県経営者協会
一般社団法人地方創生パートナーズネットワーク
一般社団法人おもてなしLIGT協議会

◇マスコミ(会員様数:8)

琉球朝日放送株式会社
琉球放送株式会社
株式会社ラジオ沖縄
株式会社沖縄タイムス
株式会社琉球新報社
有限会社沖縄観光速報社
沖縄テレビ放送株式会社
株式会社RBCビジョン

◇運輸・交通(会員様数:27)

株式会社ソラシドエア
全日本空輸株式会社 沖縄支店
琉球エア・コミュニーター株式会社
エケル航空株式会社
琉球海運株式会社
沖縄バス株式会社
中部観光バス株式会社
株式会社北部観光バス
株式会社小禄運輸 観光バス事業部おろくバス
有限会社カー観光
株式会社沖一ハイヤー
有限会社ウエストマリン
沖縄都市モノレール株式会社
東陽バス株式会社
有限会社美ら島 美ら島観光バス
沖縄交通事業協同組合
三和交通株式会社
伊江島観光バス株式会社
スカイマーク株式会社
株式会社琉球バス交通
日本航空株式会社 沖縄支店
日本トランスオーシャン航空株式会社
マリックスライン株式会社
沖縄NXエアカーゴサービス株式会社
東京バス株式会社
マリン観光開発
株式会社ケイトマン・ザ・スカイ

◇旅行(会員様数:50)

株式会社エイチ・アイ・エス沖縄
有限会社沖縄スカイ観光サービス
沖縄ツーリスト株式会社
クラブツーリズム株式会社
株式会社近畿日本ツーリスト
株式会社国際旅行社
株式会社進吾(ジノ) JINOTOUR
株式会社JAL JTAセールス
株式会社ジェイトリップ
株式会社ジャパンホリデートラベル
株式会社ジャンボツアーズ
株式会社日本旅行沖縄
株式会社阪急交通社
株式会社ホワイト・ベアファミリー
楽天株式会社
平田観光
株式会社リウボウ旅行サービス
日新航空サービス株式会社
株式会社中央ツーリスト
T-LIFEホールディングス株式会社
株式会社メリットトレーディング
沖縄JTB株式会社
株式会社スカイツアーズ
株式会社東亜旅行社
株式会社万栄商事
株式会社たびのレシビ 沖縄支店
株式会社EGL OKINAWA
株式会社富士ツーリスト
株式会社結トラベル
バイオア合同会社
ラド観光株式会社 沖縄営業所
株式会社セルリアンブルー
株式会社ジャルパック
東武トップツアーズ株式会社 沖縄支店
株式会社JSC
株式会社HANATOUR JAPAN
株式会社信恒商事
Ever Green Travel株式会社

株式会社嘉翔ツーリズム
ヒルトン・グランド・パケーションズ
オリオンツアー
株式会社SEEC
WAmazing株式会社
オンライントラベル株式会社
株式会社旅工房沖縄
株式会社SeaSky
やんばるツーリスト
Japan Travel Arrangments(株式会社日豊)
WebBeds FZ LLC
株式会社B2N OKINAWA

◇レンタカー・レンタルバイク(会員様数:18)

オリックス自動車株式会社
有限会社なはレンタカー
株式会社フジレンタカー
株式会社エービーシーサービス ABCレンタカー
イン・リンク株式会社
有限会社ウイロー
沖縄輪業株式会社
有限会社サキハマ
株式会社日産レンタリース沖縄
スカイレンタリース株式会社
ニッポンレンタカー琉球株式会社
有限会社TM.Planning
株式会社R&A (沖縄プレミアムレンタカー)
HVレンタリース株式会社
株式会社トヨタレンタリース沖縄
株式会社セレブ セレブレンタカー
ヒートスポーツレンタカー
イーチャリティ那覇国際通り本店/
Discovery Bicycle Tours Okinawa

◇金融・流通・建設・配送(会員様数:14)

有限会社島運送
有限会社小川保険事務所
株式会社おきぎんジェーシービー
株式会社沖縄海邦銀行
株式会社琉球銀行
株式会社南海エクスプレス 沖縄営業所
沖縄振興開発金融公庫
琉球通運株式会社
株式会社大林組 沖縄営業所
損害保険ジャパン株式会社 沖縄支店
株式会社国場組
株式会社沖縄銀行
株式会社ビートレーディング
株式会社スペース

◇観光施設・飲食・土産品(会員様数:67)	◇宿泊施設(会員様数:115)	株式会社前田産業ホテルズ ホテルライジングサン宮古島 東横イン那覇旭橋駅前 (株式会社東横イン) ホテルルートイン那覇泊港 ハレクラニ沖縄 ハイアットリージェンシー 瀬良垣アイランド沖縄 ノボテル沖縄那覇 ホテルコレクティブ JR九州ホテル プラッサム那覇 東急ステイ沖縄那覇 株式会社邦企画開発 ホテル星立西表島(株式会社HEAトラストグループ) スマイルホテル那覇シティリゾート 東横イン那覇おもろまち駅前 株式会社東横イン那覇新都心おもろまち リゾート琉球株式会社 沖縄UDS株式会社 星のや沖縄 ヒルトン沖縄瀬底リゾート ANAクラウンプラザリゾート沖縄うるまヒルズ	株式会社旭堂 有限会社福琉印刷 沖縄高速印刷株式会社 有限会社中部電算フォーム 株式会社アッドブ 株式会社ワンダーリューキュー 株式会社イー・ステート・オンライン 有限会社ウエスト沖縄 IJU株式会社 有限会社太陽印刷 株式会社エンジョイOKINAWA 株式会社エアポートTVネットワークジャパン 株式会社ケイツープランニング		
株式会社アムズシーヴィス 有限会社うえち ステーキハウス88グループ 株式会社沖縄テクノクリエイト 株式会社グレートイースタン 琉球料理と琉球舞踊 四つ竹 株式会社幸 株式会社ジェイシーシー 有限会社ちぬまんフーズ フォーモストブルーシール株式会社 レストショップ 琉球の館 ナゴバインアップルパーク (株式会社名護バイン園) 株式会社南都 株式会社マレア・クリエイト (宜野湾マリン支援センター) 中村家住宅(国指定重要文化財中村家住宅) 国際王 国 & ホテル むら咲むら(株式会社読谷ククルリゾート沖縄) 沖縄フルーツランド株式会社 ネオパークオキナワ (名護自然動植物公園株式会社) 株式会社森のガラス館 株式会社優美堂 沖縄アウトレットモールあしびなー(大和ハウスリアルティマネジメント株式会社) 豊崎ライフスタイルセンター TOMITONテナント会(株式会社ザイマックス九州) 沖縄ディーエフエス株式会社 ANA FESTA株式会社 沖縄店 株式会社タイラ 株式会社琉民 株式会社沖縄県物産公社 株式会社御菓子御殿 株式会社沖縄黒糖 ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校 株式会社ナンボー 東南植物楽園 公益財団法人沖縄協会 (沖縄平和祈念堂) イオンモール沖縄ライカム 味と踊りの竜宮城うらしま 有限会社キャプテンズグループ 株式会社フードサービスもとぶ 有限会社料亭那覇 琉球ガラス村 沖縄県観光事業協同組合 恩納ガラス工房 (株式会社恩納ガラス工芸育成センター) 恩納海浜公園ナビービーチ ピオスの丘 有限会社首里琉染 株式会社琉球民芸センター 道の駅許田 (やんばる物産株式会社) 株式会社おきなわ屋 株式会社U-MORE (鳥しゃぶしゃぶNAKAMA) 株式会社 徳慶 琉球村 (多幸山株式会社) 株式会社エーデルワイス沖縄 東村ふるさと振興株式会社 株式会社ashibi enterprise 株式会社沖縄物産企業連合 NPO法人自然体験学校 株式会社がんじゅう 城紅型染工房 DMMかりゆし水族館 イース沖縄豊崎(大和ハウスリアルティマネジメント株式会社) 釣って見つけるぼうけんの国 万座毛株式会社 バナナパラダイス 那覇空港店 株式会社 日本バイオテック 南城美術館 株式会社ジャパンエンターテイメント 古宇利島の駅ソラハシ 沖縄南風堂株式会社 有限会社川平マリンサービス CAVE OKINAWA	ロワジュールホテル&スパタワー那覇 バシフィックホテル沖縄 沖縄ハーバービューホテル 株式会社かりゆし ホテルJALシティ那覇 南西観光ホテル リーガロイヤルグラン沖縄 リッチモンドホテル那覇久茂地 メルキールホテル沖縄那覇 (エイ・エイ・ピー・シー・ジャパン株式会社) 琉球サンロイヤルホテル株式会社 東横INN那覇国際通り美栄橋駅 ダイワロイネットホテル那覇国際通り 株式会社西鉄ホテルズ COMMUNITY & SPA 那覇セントラルホテル バームロイヤルNAHA国際通り ダイワロイネットホテル沖縄県庁前 株式会社ホテルグランビュー ホテルオーシャン ホテルパークスタジアム那覇 ホテル沖縄withザンリオキャラクターズ 沖縄GRGホテルズ株式会社 一般財団法人沖縄県青年会館 サザンビーチホテル&リゾート沖縄 イウンチホテル南城 ソルヴィータホテル那覇 ダブルツリーbyヒルトン那覇 ラグナガーデンホテル バグネルホテルカンパーナ沖縄 株式会社KPG HOTEL & RESORT 株式会社EM研究機構 Royal Hotel 沖縄残波岬 ホテル日航アリビラ リザンシーパークホテル谷茶ベイ ANAインターコンチネンタル 万座ビーチリゾート ホテルナッサンリゾートオキナワ ムーンホテルズアンドリゾート株式会社 オリエンタルホテル 沖縄リゾート&スパ セラトラン沖縄サンマリナリゾート カヌチャリゾート ザ・テラスホテルズ ザ・リッツ・カールトン沖縄 ホテルリゾネックス名護 ホテルゆがふいんおきなわ ホテルマハイナ ウェルネスリゾートオキナワ ロイヤルビューホテル美ら海 リゾートホテル・ベル・パライソ YYY CLUB IE RESORT オクマプライベートビーチ&リゾート 株式会社宮古島東急ホテル&リゾート ANAインターコンチネンタル石垣リゾート クラブメッド 石垣島 星のや竹富島 アートホテル石垣島 南の美ら花ホテルミヤヒラ ホテルグランビュー 石垣新川 石垣シーサイドホテル はいむるぶし ローヤルホテル 株式会社ロイヤルマリンパレス ヒルトン沖縄北谷リゾート 那覇東急REIホテル スマイルホテル沖縄那覇 沖縄ホテル ウィークリーハーバービューマンション本館 ザ・ピーチタワー 沖縄 株式会社守礼 ホテルみゆきビーチ 本部グリーンパークホテル・ゴルフ場 石垣島ビーチホテルサンシャイン ネイチャーみらい館 ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート ホテルロイヤルオリオン ハイアットリージェンシー那覇沖縄 HOTEL AZAT ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城 ホテルグレイスリー 那覇 ワンスイートホテル&リゾート古宇利島 海の旅亭おきなわ名嘉真荘	株式会社東横イン那覇旭橋駅前 ホテルルートイン那覇泊港 ハレクラニ沖縄 ハイアットリージェンシー 瀬良垣アイランド沖縄 ノボテル沖縄那覇 ホテルコレクティブ JR九州ホテル プラッサム那覇 東急ステイ沖縄那覇 株式会社邦企画開発 ホテル星立西表島(株式会社HEAトラストグループ) スマイルホテル那覇シティリゾート 東横イン那覇おもろまち駅前 株式会社東横イン那覇新都心おもろまち リゾート琉球株式会社 沖縄UDS株式会社 星のや沖縄 ヒルトン沖縄瀬底リゾート ANAクラウンプラザリゾート沖縄うるまヒルズ ベストウェスタン レクー沖縄北谷スパ&リゾート プセナリゾート株式会社 有限会社とかしくマリンビレッジ ヒューイットリゾート那覇 株式会社ピース企画 株式会社南西楽園リゾート OMO5沖縄那覇by星野リゾート 沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん ホテル・アンドルームス那覇ポート 琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ HIYORIオーシャンリゾート沖縄 ヒルトン沖縄宮古島リゾート ユナイテッドリゾート リゾナーレ小浜島 PGMホテルリゾート沖縄 株式会社ヨンヨング	◇情報通信・IT(会員様数:19) 株式会社オーシーシー 株式会社沖縄映像センター Gネットワーク株式会社 NTT西日本 沖縄支店 株式会社オキツ 株式会社ブレイン 株式会社ワイズブリッジ NO MARK Inc. テトラビット 沖縄Hibi(ハイベ) 富士通Japan株式会社 沖縄支社 キッセイコムテック株式会社 株式会社タツブTHL 沖縄事務所 ガリオスコープ株式会社 株式会社タイミー SOCIALPORT株式会社 旅色 Nutmeg Labs Japan株式会社 琉球パブリックリレーションズ株式会社	◇マリンレジャー・スポーツ(会員様数:18) ザ・サザンリンクスゴルフクラブ (株式会社アコーディアAH02) かねて喜瀬カントリークラブ 株式会社シーサー (マリンハウスシーサー) 有限会社トツマリン残波 TOTAL MARINE SPOT NEWS 有限会社ぶしいぬしま mic21株式会社 アブリシエイト 有限会社タイド 一般財団法人健康科学財団 株式会社バディ・アジア・バシフィックジャパン 株式会社シーボール (マリンクラブUMI) 株式会社南洋社中 (沖縄海あしび) 株式会社NASH 株式会社ブルーフィールド ダイビングサービスジャミング 有限会社やんばる自然塾 ヤンバルンチャー	◇イベント・ウェディング・舞台関係(会員様数:9) 沖縄ワタベウェディング株式会社 株式会社プライダルハウスチュウ沖縄 有限会社池宮商事 有限会社サウスエリア 有限会社インプレスト 株式会社ブリックス かりゆしウェディングANNE サニーズウェディング 一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会

◇卸・小売・販売(会員様数:28)	◇人材派遣・翻訳・通訳(会員様数:9)		
オリオンビール株式会社	株式会社リクルートライフスタイル沖縄	株式会社ビジネスランド	
くうすの社 忠孝蔵	株式会社ブレンディー	琉球警備保障株式会社	
まさひろ酒造株式会社	株式会社沖縄リレーションシップ	株式会社りゅうせき	
株式会社サンエー	株式会社チャイナゲートウェイ	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社	
株式会社ブラザハウス	株式会社マイナビ 沖縄支社	株式会社沖縄ダイケン	
株式会社奥原商事	株式会社沖縄コングレ	有限会社沖縄花火	
パイプネット株式会社	株式会社サポートスタッフ沖縄	株式会社住太郎ホーム	
沖縄食糧株式会社	株式会社グッドマンサービス	株式会社沖縄第一興商	
株式会社フジタクリエイション	株式会社ヒト・コミュニケーションズ	株式会社ネオックスワン	
株式会社チェリオ沖縄		美浜リアルエステート株式会社	
株式会社JTB商事 沖縄支店		リゾートベビシッターサービス ワールドキッズ	
サントリーフーズ沖縄株式会社		沖縄の風合同会社	
株式会社サッポロドラッグストア		吉本興業株式会社(よしもとエンタテイメント沖縄)	
株式会社ホクガン	◇学術・研究・コンサル(会員様数:7)	レンタル琉装veni	
株式会社ジュネ	株式会社おきぎん経済研究所	NPO法人那覇市街角ガイド	
福山商事株式会社	株式会社DUO	日琉リネンサプライ株式会社	
有限会社比嘉酒造	株式会社エス・ピー・ネットワーク沖縄営業所	コーユーレンタリース株式会社 沖縄営業所	
瑞泉酒造株式会社	株式会社りゅうぎん総合研究所	株式会社IGLOOO	
株式会社ジムキ文明堂	公益財団法人日本交通公社(JTBF)	SYLジャパン株式会社	
株式会社久米島の久米仙	オフィスKIBOU株式会社	株式会社ゆがふホールディングス	
沖縄コカ・コーラボトリング株式会社	ノイズ・バリュース	沖縄体験ニライカナイ	
コジマ×ピックカメラ那覇店		沖縄アリーナ株式会社	
株式会社エス・ティ商事		株式会社イノアック琉球	
(株)サガミトレーディングオキナワ		株式会社東洋設備	
ecowana		有限会社朝日興業企画	
シヤチハタ株式会社	◇企業・その他(会員様数:44)	株式会社INFORICH	
株式会社トーホー沖縄	あいあいケーターリング沖縄(株)アメリティ	株式会社ジョイント沖縄	
株式会社ファッションキャンディ	株式会社アイレント	株式会社オーパス	
	IMAGE 株式会社アルファスリー	New Quest株式会社	
	沖縄ガス株式会社	那覇NICE救急クリニック	
	沖縄セルラー電話株式会社	株式会社ウイルテック	
	富士フイルムBI沖縄株式会社	株式会社テレビ朝日サービス	
	沖縄総合警備保障株式会社		
	沖縄綿久寝具株式会社		
	株式会社DMC沖縄		
	株式会社桃原農園		
	那覇空港ビルディング株式会社		
	株式会社日進商会(MAJUN OKINAWA)		

OCVB 賛助会員募集中！

OCVBは、「沖縄観光のプロフェッショナルとして県経済発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せづくりに貢献する」ことを基本理念としています。

●会員サービス

迅速な情報提供

- ①OCVBからの迅速な情報発信、相互情報発信を目的とした「賛助会員交流掲示板」への参加
- ②月1回発行「OCVB News」早期配信

PRする場合のご提供

- ①OCVBサイト(当サイト)の「賛助会員情報」内における企業情報掲載
- ②OCVB交流サロンならびに東京事務所バンフレットラックの利用(無料)

各種イベントのご案内

- ①OCVB事業説明会・交流会
- ②OCVB新春の集い
- ③各種講演会、セミナーの開催

●年会費

基本会費：1口 50,000円



お問い合わせ先：OCVB 賛助会員事務局

TEL：098-859-6124 詳しくは、<http://www.ocvb.or.jp/organization/member>